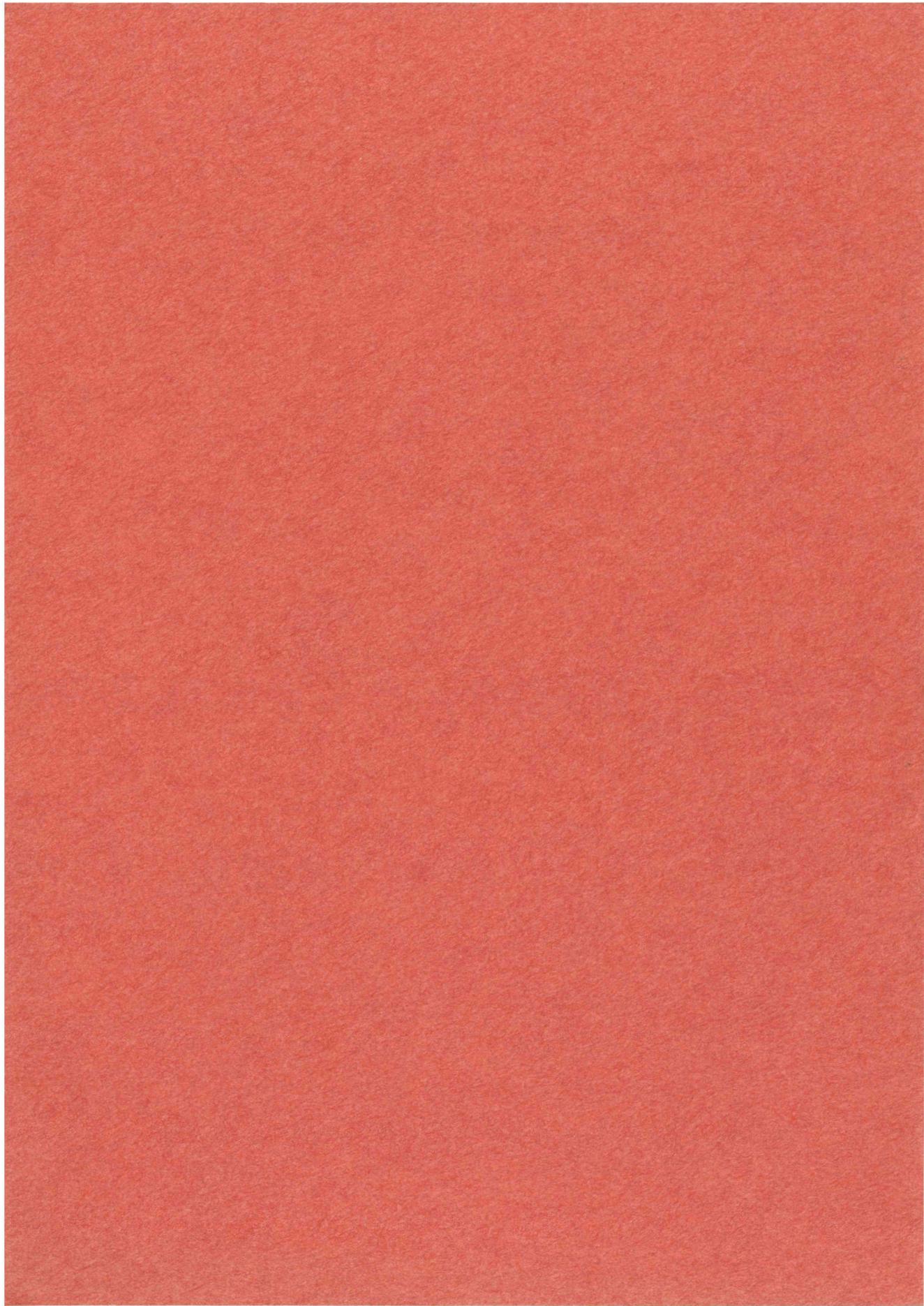


日本経済分析文献索引

No. 2

昭和43年7月

一橋大学経済研究所
日本経済統計文献センター



利 用 上 の 注 意

I この索引の目的

この索引は、明治以降の日本経済の実証分析を目的とした文献、および分析のための基礎資料と理論的方法にかんする情報を含む文献を選択し、内外の日本経済研究者の利用に供することを目的としている。

II 収録の範囲および基準

この索引に収録する文献の範囲は以下のような方針によって定めた。

- 1 日本経済の実証分析を目的とした文献については、日本および外国の図書・論文・モノグラフ・学会展望・国際会議・議事録など、できるだけ広く採録することにとめた。
- 2 日本経済分析のための基礎資料については、次の方針によった。
 - a 一般的な年鑑、統計年報等の統計資料は採らなかつた。ただし、統計資料を利用するための参考図書、例えば分類表、個々の統計調査の手引、調査の改訂、指数の改正などの案内などは採ることにとめた。白書は採録した。
 - b 実証分析のための理論的方法にかんする文献は日本文献に限った。外国文献については、すでにすぐれた索引が発行されているからである。(ただし、162はまだこの方針によっていない。163より、さかのぼって採録する予定である。)
- 3 著作目録・研究文献目録・文献サーヴェー・書評論文はできるだけ採ることにとめた。書評は採らなかつた。
- 4 地方出版物については、我々の文献センターの収集体制がまだ充分でないので、地方の主な大学・研究機関・調査機関の出版物と機関誌の論文に重点をおいた。
- 5 外国語文献のばあいは、外国人の日本経済研究者が利用することを考えて選択の範囲を若干拡大した。

III 記載形式について

記載形式は、原則として経済資料協議会編集の「経済学文献季報」によった。

- 1 雑誌論文は著者名、論文名、雑誌名、巻号、頁～頁、日・月・年の順に記載した。巻号および年・月・日の略記号は次のようにした。

1968年5月発行の20巻1号の雑誌の10頁から25頁に掲載論文のばあひ
20(1), 10~25(5, 1968)

20巻3号と4号の合併号のばあいは、

20(3/4)とした。

週刊、半月刊のばあいは、発行日を発行月の前に入れ、

1968年1月15日発行のものは(15, 1, 1968)とした。

- 2 単行書のなかの論文は著者名、論文名、単行書名(「」に入れて示す)、頁～頁とした。
- 3 単行書・資料は著者名、書名、発行地、発行所、発行月、発行年、頁、シリーズ名、定価(市販のばあひ)、とした。
- 4 2人以上の著者の著作で、執筆分担の確認できるばあひは、その著作の目次を掲載した。

IV 分類について

- 1 この索引の分類表は「日本経済統計文献センター分類表、昭42」の大綱目にしたがって、別記のように定めた。各大綱目にどのような主題が含まれるかを明らかにするために、参考として同分類表の主綱表を掲げた。
- 2 複数の論文からなる図書、例えば論文集などは、単行書として分類する他、論文毎に各分類項目にいれた。ただし、講座類の論文のように内容が同一主題のばあひは、内容を掲載するのみにした。

V 配列について

- 1 各分類項目のなかの文献の配列は著者名のアルファベット順(ヘボン式)によった。著者名のないもの、および座談会の記事は、論題のアルファベット順により、著者名配列のなかに組入れた。
- 2 単行書と資料は*印をつけ、単行書のなかの論文は†印をつけて区別した。

分 類 表

- A 総 記
- B 科学総論
- C 経済理論
- D 統計学 統計資料
- E1 日本経済史
- E2 日本経済論 日本経済分析一般
- F 経済の主体と環境
- G 社会経済体制
- H 国民経済循環の構造
- J 生産の資源
- K 生産と生産活動
 - K1 生産と生産性
 - K2 産業構造 産業組織
 - K3 個々の産業
 - K3A 農 業
 - K3B 林 業
 - K3C 漁 業
 - K3D 鉱 業
 - K3E 建設業
 - K3F 工業 製造業
 - K3G 商 業
 - K3H エネルギー産業
 - K3J 運輸 交通
 - K3K 通 信 業
 - K3L サービス業
- L 企業 経営
- M 国民所得の分配と支出
- N 財 政
- P 貨幣 金融 保険
- Q 価値 価格 物価
- R 経済変動
- S 国際経済

日本経済統計文献センター分類主綱表

- | | |
|---|---|
| <p>A 総記</p> <p>A 1 図書館</p> <p>A 2 図書学 書誌学</p> <p>A 3 情報科学 情報管理</p> <p>A 4 参考図書</p> <p>A 5 論集 評論 随筆 雑記</p> <p>A 6 学会 団体 会議 研究機関</p> <p>A 7 研究法 指導法 研究案内</p> <p>A 8 双書 講座 全集</p> <p>A 9 稀書</p>
<p>B 科学総論</p> <p>B 1 自然科学</p> <p>B 2 人文科学</p> <p>B 3 社会科学</p> <p>B 4 行動科学 社会工学</p> <p>B 5 歴史学</p>
<p>C 経済学</p> <p>C 1 経済学史</p> <p>C 2 経済学方法論 経済哲学</p> <p>C 3 経済分析の方法</p> <p>D 統計学 統計資料</p> <p>D 1 統計理論と方法</p> <p>D 2 応用統計学</p> <p>D 3 統計制度</p> <p>D 4 統計資料論 統計資料</p>
<p>E 経済史 経済事情</p> <p>E 1 経済史</p> <p>E 2 経済事情</p> | <p>F 経済の主体と環境</p> <p>F 1 経済の主体</p> <p>F 2 自然条件</p> <p>F 3 地 理</p> <p>F 4 人種 民族</p> <p>F 5 民俗 宗教 文化一般</p> <p>F 6 教 育</p> <p>F 7 社 会</p> <p>F 8 政治 外交</p> <p>F 9 法 律</p>
<p>G 社会経済体制</p> <p>G 1 社会経済体制一般 比較経済体制</p> <p>G 2 資本主義経済体制 経済政策</p> <p>G 3 社会主義経済体制 計画経済</p> <p>G 4 戦争経済</p>
<p>H 国民経済循環の構造</p> <p>H 1 国民経済循環 国民経済計算</p> <p>H 2 国富 国民貸借対照表</p> <p>H 3 産業連関表分析</p> <p>H 4 資金循環表分析</p> <p>H 5 国民経済バランス論</p>
<p>J 生産の資源</p> <p>J 1 生産資源一般 資源論</p> <p>J 2 自然資源</p> <p>J 4 人 口</p> <p>J 4 労 働</p> <p>J 5 科学技術</p>
<p>K 生産と生産活動</p> <p>K 1 生産と生産性</p> <p>K 2 産業構造 産業組織</p> |
|---|---|

- K 3 個々の産業
 - K 3 A 農 業
 - K 3 B 林 業
 - K 3 C 漁 業
 - K 3 D 鉱 業
 - K 3 E 建 設 業
 - K 3 F 工業 製造業
 - K 3 G 商 業
 - K 3 H エネルギー産業
 - K 3 J 運輸 交通
 - K 3 K 通 信 業
 - K 3 L サービス業

- L 企業 経営 会計
 - L 1 経営学 企業経済学
 - L 2 経営史 経営事情
 - L 4 企業経済
 - L 5 経営管理

- M 国民所得の分配と支出
 - M 1 国分所得の分配
 - M 2 国民所得の支出

- N 財 政
 - N 1 財政理論
 - N 2 財政史 財政事情
 - N 3 財政政策 財政行政
 - N 4 財政制度
 - N 5 国庫経費と財政収入
 - N 6 公 債
 - N 7 官業 国有財産 専売
 - N 8 地方財政

- P 貨幣 金融 保険
 - P 1 貨幣理論 金融理論
 - P 2 通貨金融史 通貨金融事情
 - P 3 通貨金融政策 銀行政策
 - P 4 金融制度 貨幣制度
 - P 5 金融市場 資本市場
 - P 6 銀行 金融機関
 - P 7 産業別金融
 - P 8 保 險

- Q 価値 価格と物価
 - Q 1 価値理論 価格理論 交換論
 - Q 2 物 価
 - Q 3 個別価格

- R 経済変動
 - R 1 経済変動の理論
 - R 2 経済成長 経済進歩
 - R 3 構造変動 国民経済構造論
 - R 4 長期変動
 - R 5 景気変動 景気循環 恐慌
 - R 6 景気予測 景気変動の計量分析

- S 国際経済
 - S 1 国際経済 世界経済
 - S 2 国際収支
 - S 3 外国貿易
 - S 4 国際通貨 国際金融

編集係より

- 1 「索引№2」をお届けします。№2は1968年3月～5月の発行日付をもつ図書・論文および1月～3月の洩れを収録しました。
- 2 №2は№1の利用者の意見によって若干の改善をしました。
 - i 白書類、統計資料の利用の手引、および官庁統計調査部による統計調査の結果の分析を追加した。
 - ii 市販の単行書に定価を入れた。
 - iii 論文が標準カード(12.5cm×7.5cm)に貼れるように左右をつめた。
- 3 本号には間に合いませんでしたが、№3に「採録雑誌一覧表」および各号に「本号採録誌名巻号リスト」をつける予定です。
- 4 採録の基準については、分析のための理論および経済史の論文をどこまで採録するかなど多くの利用者から質問をいただきました。この問題は非常にむづかしい問題ですが、早急に明確にするつもりであります。
- 5 著者索引をつけるようにという要求がありました。が、年間累積版を作成する予定でありますので、著者索引はその際つけるつもりであります。その代りに№3からはできるだけ分出を多くして行くつもりです。
- 6 この「索引」はなお多くの採録洩れやミスがあると思いますが、利用者のご注意により更に改善して行きたいと思っております。

ご意見は 編集係 細谷新治

迄お知らせ下さいますようお願いいたします。

日本経済分析文献索引

第 1 部 日本文献

B 科学総論

庄司興吉：日本社会科学史におけるマルクス主義と近代主義—ひとつのプロブレマティク—；思想（524），22～46（2，1968）

C 経済理論

- * 日高 普；林 健久；桜井 毅；渡辺 寛；鈴木 博：日本のマルクス経済学—その歴史と論理—下，東京 青木書店 1，1968。298P。 ¥850
- * 篠原三代平；林 栄夫；宮崎義一編集：近代経済学講座 基礎理論篇 4 成長と循環，東京 有斐閣 4，1968。304P。 ¥620

内 容

第1部 経済成長

- | | |
|---------------|-------|
| 第1章 経済成長の基本問題 | 坂本 二郎 |
| 第2章 経済成長と資本蓄積 | 荒 憲治郎 |
| 第3章 経済成長と貿易 | 小 島 清 |

第2部 景気循環

- | | |
|----------------|---------------|
| 第1章 景気循環の種類と過程 | 伊達 邦 春 |
| 第2章 景気理論の諸形態 | 早川 泰 正 |
| 第3章 巨視的動態論 | 浅野 栄 一 伊東 光 晴 |
| 第4章 在庫循環 | 藤野 正三郎 |
| 第5章 景気変動の国際的波及 | 渡部 福太郎 |

第3部 予測と政策

- | | |
|-----------------|--------|
| 第1章 経済予測 | 馬場 正 雄 |
| 第2章 成長・循環と財政・金融 | 林 栄 夫 |

- * 数量経済共同研究 昭和42年度定例研究会議事録，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト 4，1968。22P。（数量経済研究シリーズ ㉞31）
- * 数量経済共同研究会議事録 第4回，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト 4，1968。9P。（数量経済研究シリーズ ㉞32）

* 都留重人監修：新しい政治経済学を求めて II，東京 勁草書房 4，1968.
375 P. ¥960

内 容

第一部 現代資本主義の諸問題

- | | |
|------------------|---------|
| I 「資本」による「市場」の包摂 | 都 留 重 人 |
| コメント | 宮 崎 義 一 |
| II 恐慌史方法ノート | 宮 崎 犀 一 |
| コメント | 熊 谷 一 男 |
| III 寡占企業と経済成長 | 山 田 克 巳 |
| コメント | 笹 原 昭 五 |

第二部 社会保障と水の政治経済学

- | | |
|----------------------------|---------|
| IV 戦後日本における社会保障の所得再分配効果 | 地 主 重 美 |
| コメント | 江 見 康 一 |
| V 水の政治経済学(一)－水の商品化とその価格形成－ | 華 山 謙 |
| VI 水の政治経済学(二)－水道料金の問題点－ | 都 留 重 人 |

第三部 社会主義国および後進国の問題点

- | | |
|-------------------|---------|
| VII 経済改革と価値法則の問題 | 石 津 英 雄 |
| コメント | 望 月 喜 市 |
| VIII 後進国経済発展の阻害要因 | 中 内 恒 夫 |
| コメント | 米 倉 一 良 |

D 統計学 統計資料

安藤鎮正：小票法（個票法）の系譜覚え書－明治期の実務的統計技術史に関する若干の資料について－；統計局研究彙報（17），1～38（3，1968）

* 行政管理庁統計基準局：日本統計月報 資料解説編 昭和43年，東京 日本統計協会 1，1968. 180 P. ¥500

* 経済団体連合会：民間統計調査資料一覧 付録「官庁統計調査資料一覧」，東京 同会 1，1968. 357 P. ¥800

† 木村太郎：統計生産の歴史的諸形態について，「現代の経済と統計 鱈川虎三先生古稀記念」 P.57～75

内藤 隆：昭和43年における農林統計調査の課題；農林統計調査 18（1），10～15（1，1968）

中島康典：時系列統計間の相関係数について－全国市街地価格指数に関連して－；不動産研究 10（2），112～117（4，1968）

- 十 中村 浩：国民所得統計の正確性について，「現代の経済と統計 蛭川虎三先生古稀記念」P.91～108
- * 蛭川虎三先生古稀記念論文集編集委員会：現代の経済と統計 蛭川虎三先生古稀記念 東京 有斐閣 5, 1968, 402P. ¥2,000
- 十 二塚正也：マーケティングにおける統計の作り方使い方—或る合繊メーカーの一担当者のメモより—，「現代の経済と統計 蛭川虎三先生古稀記念」 P.135～157
農林統計はいかにあるべきか 近藤康男教授に聞く 聞く人 堀 常次郎；豊田 尚〔Ⅰ〕；〔Ⅱ〕；農林統計調査 18(1), 26～31；18(3), 57～63(1；3, 1968)
- 十 大橋隆憲：戦後日本の階級構成と最高経営者層中核部，「現代の経済と統計 蛭川虎三先生古稀記念」 P.205～238
- * 通商産業省：原材料消費・原材料在庫・生産能力・稼働率指数の改訂について，東京 同省 3, 1968, 65P.
- * 通商産業省：生産・出荷・在庫指数の改訂について，東京 同省 1, 1968, 37P.
- * 通商産業省大臣官房調査統計部工業統計課：工業統計調査用 産業分類，東京 大蔵省印刷局 3, 1968, 133P. ¥150
- * 通商産業省大臣官房調査統計部統計解析課：鉱工業生産指数等の季節変動調整方法について，東京 産業材料調査研究所 3, 1968, 76P. (統計解析シリーズ №9)

E1 日本経済史

- 十 川浦康次：「厳マニユ時代説」の現代的意義，「高橋幸八郎；古島敏雄編：近代化の経済的基礎 大塚久雄教授還暦記念 I, 東京 岩波書店 4, 1968.」 P.497～515
- * 大江志乃夫：日本の産業革命，東京 岩波書店 4, 1968, 376, 17P. ¥500
- * 高橋亀吉：日本近代経済形成史 第一～三巻，東京 東洋経済新報社 3；4；6, 1968, 320, 5；400, 10；973, 12P. 3冊 ¥1,400；¥1,600；¥2,000
- 十 高橋幸八郎：ジャコビニズムと日本の歴史学，「高橋幸八郎；古島敏雄編：近代化の経済的基礎 大塚久雄教授還暦記念 I, 東京 岩波書店 4, 1968.」 P.533～552

- † 津田秀夫：「世直し」の社会経済史的意義，「高橋幸八郎；古島敏雄編：近代化の経済的基礎 大塚久雄教授還暦記念 I，東京 岩波書店 4，1968。」
P.467～496

E 2 日本経済論 日本経済分析一般

- 力石定一：金戦争の中の日本経済；展望（113），51～56（5，1968）
激動する世界経済の中の日本（特別対談）：下村 治；小宮隆太郎；東洋経済
（3405），4～20（8，5，1968）
橋本彦三：東海地方経済の特色と発展方向；調査月報（長銀）（105），13～
69（5，1968）
- * 旗手 勲：戦後日本における経済構造の変貌—統計資料の分析を中心に—（調査資料
67-4），東京 国立国会図書館調査立法考査局 3，1968。107，
8 P.
- 八田 薫：九州経済の現状と開発について；西南学院大学経済学論集 2（2），1～
16（3，1968）
- * 北海道企画部：北海道経済白書 昭和42年度版—均衡発展への課題—，東京 全
国官報販売協同組合出版部 3，1968。509 P。 ¥600
堀田俊彦；伊達泰香；白川 進：43年度経済の焦点；通商産業研究 13（1），
106～141（2，1968）
- 石黒隆司：日本経済の潜在生産力—Wharton School方式稼働率指数の作成と
その検討—；調査月報（開銀） 16（10），3～45（1，1968）
金森久雄：日本経済に不安はない—思いきった成長政策をとれ—；エコノミスト
46（16），236～242（20，4，1968）
- 三菱経済研究所：ドル防衛下の日本経済—現状と展望—；経済予測四季報 1～
60（1，1968）
- 三輪悌三：日本経済の発展と見通し—アレン教授の分析と勧告—；金融界 20
（5），42～47（5，1968）
- 宮崎義一：ドル危機と日本資本主義；世界（269），28～45（4，1968）
沖繩白書 現状と復帰への展望；法律時報 臨時増刊 40（4），1～335
（3，1968）
- * 大来佐武郎：日本経済のビジョン—豊かな社会への課題—，東京 ダイヤモンド社
4，1968。217 P。 ¥350
瀬戸内経済の現状とその動向；調査月報（神戸銀）（306），26～39
（2，1968）

シンポジウム 日本経済はこれからどうなる：エコノミスト 46(16), 194
～233(20, 4, 1968)

報告 中期循環からみた日本経済と世界経済 篠原三代平 P.194～205

討論 熊谷尙夫(司会)篠原三代平;内田忠夫;今井則義;竹中一雄

第一部 中期循環論の諸問題 P.206～225

第二部 日本の景気をどうみるか P.226～233

高内俊一：沖繩経済の現実 (上)軍事基地が最大の産業；(中)高度成長のヒズミ
深刻化；(下)復帰への不安と摸索；エコノミスト 46(19), 48～53；
46(20), 56～61；46(21), 64～69(7, 5；14, 5；12,
5, 1968)

* 時子山和彦：日本経済の計画モデル，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロ
ジェクト 4, 1968. 11P(数量経済研究シリーズ 629)

特集 日ソ経済学者東京シンポジウム 戦後世界経済の方向と計画 第Ⅱ部 日本経
済の成長と経済計画；経済評論 17(6), 82～159(5, 1968)

戦後日本の経済計画 中村隆英 P.82～96

(討論) 中村隆英；尾上久雄；内田忠夫；山田勝次郎；ハチャトクローフ；

バプロフ P.97～109

日本資本主義の国際的地位 柳田 侃 P.110～124

(討論) 柳田 侃；都留重人；長洲一二；ハチャトクローフ；イノゼムツエフ；

バプロフ P.125～129

日ソ経済関係の問題点と展望(討論) ベトロフ；大橋周治；柳田 侃；大来佐武
郎 P.130～139

* 東洋経済編：日本経済読本，東京 東洋経済新報社 4, 1968. 283, 8P
(東洋経済読本シリーズ I) ¥ 500

山崎 衛：昭和43年度日本経済の展望；通商産業研究 16(1), 8～24
(2, 1968)

F 経済の主体と環境

* 青木虹二編：日本労働運動史年表 <第一巻> 明治大正編，東京 新生社
5, 1968. 844P ¥ 3,500

花島政三郎：戦後の社会保障をめぐる新聞論議と世論—日刊紙の分析—；社会保障
研究 3(4), 43～56(3, 1968)

菱沼貞雄：公害とその規制措置—公害問題 そのI—；不動産研究 10(1),
63～89(1, 1968)

- 経済統計課労働組合係：労働争議の動向—42年労働争議統計調査結果より—；労働統計調査月報 20(5), 22~26(5, 1968)
- 経済統計課労働組合係：労働組合組織の現状—昭和42年労働組合基本調査結果—；労働統計調査月報 20(2), 19~24(2, 1968)
- 小山路男：医療保険改革案の背景—昭和36~42年の概観—；経済と貿易 (96), 33~50(3, 1968)
- 松隈芳男：社会政策の機能と本質—岸本理論批判—；北九州大学商経論集 3(3/4), 27~45(3, 1968)
- 松本浩太郎：農民年金と国民年金—年金権の確立のために—；国民生活研究 7(3), 24~36(4, 1968)
- * 文部省：わが国の私立学校 昭和42年版, 東京 大蔵省印刷局 4, 1968. 274 P. ¥250
- 諸富忠男：公害対策基本法と今後の産業公害対策 II；水利科学 11(6), 70~82(2, 1968)
- 村上 清：企業年金の諸問題；社会保障研究 3(4), 12~21(3, 1968)
- * 中村正文：社会保障概論, 東京 日本評論社 2, 1968. 191, 15 P. ¥600
- * 日本地誌研究所：日本地誌 第6巻 群馬県・埼玉県, 青野寿郎；尾留川正平責任編集, 東京 二宮書店 4, 1968. 470 P. ¥4,500
- * 日本科学史学会：日本科学技術史大系 第11巻・自然, 東京 第一法規出版 3, 1968. 649 P. ¥3,500
- | | |
|------------------------|---------|
| 第1章 幕末・明治初期の自然の理解と記述 | 石 山 洋 |
| 第2章 地誌編纂と国際協力 | 服 部 一 敏 |
| 第3章 明治の探検 | 根 本 順 吉 |
| 第4章 明治・大正の災害と自然調査事業の発展 | 奥 田 穰 |
| 第5章 冷害の克服 | 安 藤 隆 夫 |
| 第6章 関東大震災 | 根 本 順 吉 |
| 第7章 資源の調査と開発 | 奥 田 穰 |
| 第8章 冷害・火災・台風 | 安 藤 隆 夫 |
| 第9章 日本人の食生活と栄養 | 西 三 郎 |
| 第10章 日本の風土の認識 | 吉 野 正 敏 |
| 第11章 自然の異変とその影響 | 根 本 順 吉 |
| 第12章 昭和の探検時代 | 吉 野 正 敏 |
| 第13章 開発と自然災害 | 奥 田 穰 |
| 第14章 伊勢湾台風 | 奥 田 穰 |

第15章 風土病と疫学	西 三 郎
第16章 自然の保護	沼 田 真
第17章 戦後の地域開発・資源・災害問題	奥 田 穰

年表

参考文献目録

- 日本工業立地センター：公害の被害救済に関する法的研究—産業公害問題法理研究委員会第2次研究報告—；工業立地 7(5), 4~17(5, 1968)
- 日本工業立地センター：公害の紛争処理に関する法的研究—産業公害問題法理研究委員会の研究第1次報告—；工業立地 7(2), 4~14(2, 1968)
- 西岡孝男：労働組合法案と資本家団体—大阪工業会を中心に—；日本労働協会雑誌(109), 19~29(4, 1968)
- 農村家族における児童養育費の研究 (I)~(III)；社会保障研究 3(4), 57~99(3, 1968)
- (I) 家族周期からみた生活構造の分析を中心に 森岡清美 P.57~70
- (II) 家族周期からみた家計分析を中心に 前田正久 P.71~83
- (III) 栄養分析を中心として 長嶺晋吉；磯部しづ子；山川喜久江 P.84~99
- * 労働運動史料委員会：日本労働運動史料 第三巻，東京 労働運動史料刊行委員会 2, 1968. 605P.(会員頒布)
- 3周年記念シンポジウム特集；社会保障研究 別冊(14), 3~71(5, 1968)
- 〔第1部〕
- | | |
|-----------------|---------|
| 社会保障と労働 P.3~9 | 大河内 一 男 |
| 社会保障と経済 P.10~15 | 都 留 重 人 |
| コメント P.16~19 | 嶋 田 啓一郎 |
| コメント P.19~21 | 富 永 健 一 |
| コメント P.21~23 | 加 藤 寛 |
| 一般討論 P.23~31 | |
- 〔第2部〕
- 社会保障の拠出と給付—とくに社会保険を中心として— P.32~48
- 小 山 路 男
- 社会保障の拠出と給付—イギリスにおける医療保険の歴史を中心として— P.49~55
- 小 川 喜 一
- | | |
|--------------|---------|
| コメント P.56~58 | 佐 口 卓 |
| コメント P.58~60 | 江 見 康 一 |
| コメント P.60~62 | 地 主 重 美 |
| 一般討論 P.62~71 | |

* 戦後労働運動の展開過程 社会政策学会年報 第15集, 東京 御茶の水書房
4, 1968. 210P. ¥600

内容

第一部 労働運動の潮流

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| I 戦後段階における日本労働運動の基本的特徴 | 栗木安延 |
| II <コメント>方法論をめぐって—民主主義運動と社会主義運動の関係— | 渡部徹 |
| III 運動史のなかの総評 | 清水慎三 |
| IV 産業別組合と労働運動 | 笹木弘 |
| V <コメント>産業別労働組合論に関する一つの論点 | 高梨昌 |
| VI 戦後労働組合運動の国際的連帯関係 | 中林賢二郎 |

第二部 地方労働運動の動向

- | | |
|---------------------------|------|
| I 戦後の兵庫県地方の労働運動—地域性の視点から— | 堂面秋芳 |
| II 愛媛の労働運動 | 星島一夫 |
| III <コメント>地方労働運動史研究の方法と課題 | 西村豁通 |

第三部 時期区分

- | | |
|--------------------|-------|
| I 戦後労働運動史の時期区分について | 塩田庄兵衛 |
| II <コメント>時期区分論の課題 | 田沼肇 |

正田誠一; 三好正巳: 社会政策と労働問題—国家独占資本主義社会政策論序説—; 産業労働研究所報 (44), 1~12 (3, 1968)

平実: 国家独占資本主義と社会政策の課題; 経済学雑誌 58(4), 1~24 (4, 1968)

* 統計研究会環境衛生研究委員会: 環境衛生営業における労働力の就業状況について, (執筆者 清水良平), 東京 同会 3, 1968. 58P. (環境衛生研究資料 7)

* 統計研究会公害研究委員会: 公害研究委員会研究報告書 昭和42年度, 東京 同会 3, 1968. 51P. (公害研究資料 11)

特集 社会保障; 月刊総評 (131), 10~45 (5, 1968)

- | | |
|---|------|
| 1 老後保障の問題点 P.10~22 | 内藤武男 |
| 2 労働災害の現状とその対策—労災補償引き上げのたたかい— P.23~33 | 信太忠二 |
| 3 生命と健康をまもるたたかい—医療保険抜本改悪を阻止するために— P.33~45 | 斎藤定信 |

特集・転換期の社会保障；日本労働協会雑誌（110），1～60（5，1968）

提言 社会保障と生産性 P 1	山田 雄三
社会保障制度の転換と政策の混迷 P 2～9	佐口 卓
社会保障再分配効果の展開過程—三十年代の反省と現在の課題— P 10～19	地主 重美
労働保険論の台頭 P 20～28	近藤 文二
「年金スライド制」の意味するもの P 29～37	高橋 武
医療保険の抜本改正—背景と問題点— P 38～45	小山 路男
社会保障の将来（座談会） P 46～60	高橋 長太郎；大熊 一郎 江見 康一；肥後 和夫

* 都留重人編：現代資本主義と公害，東京 岩波書店 3，1968. 385，
13P. ¥500

内容

第一章 現代資本主義と公害

1 公害とは何か	都留 重人
2 日本資本主義と公害	宮本 憲一

第二章 日本の公害

1 企業と公害	宮本 憲一
2 都市と公害	柴田 徳衛
3 その他の公害	小森 武

第三章 公害による損失

1 国民経済への影響	柴田 徳衛
2 公害と健康	庄司 光
3 経済的損失	柴田 徳衛

第四章 責任と費用負担

都留 重人

第五章 対策とその問題点

庄司 光；柴田 徳衛
宮本 憲一；戒能 通孝

第六章 国民の意識と運動

小森 武

鶴見和子：家族における婦人の役割変化（上）；（下）—戦中・戦後の比較—；

思想（525），49～64；（527），114～134，（3；5，
1968）

* 渡辺悦次；高橋敦子編：戦後労働組合史文献目録「労働資料」別冊 №35/68.

4），東京 日本労働協会労働図書館 4，1968. 47P.

山田三郎：最近における日本の東南アジア経済研究；東洋文化（45），71～
76（3，1968）

- 柳 春生：労働運動と労働時間短縮の問題（2）；産業労働研究所報（45），1～14（3，1968）
- 与田 征：健康保険組合論；社会保障研究 3（4），2～11（3，1968）

G 社会経済体制

- 阿部吉夫：農民系宗教の歴史と構造（5）—日本資本主義と天理教団—；経済論集（北海道大学）（19），44～80（2，1968）
- 平田 良：戦後日本国家独占資本主義分析の一視角；法経論集（静岡大学法経短期大学部研究紀要）（24），1～31（2，1968）
- * 香西 泰；土志田征一：政策効果の計量分析，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト 4，1968，31 P.（数量経済研究シリーズ 版27）
- 水野正一：ポリシー・ミックス；金融ジャーナル 9（4），52～58（4，1968）
- 中村尚美：平野義太郎「日本資本主義社会の機構」（歴史の名著）；歴史評論（212），47～54（4，1968）
- † 中村隆英：経済計画の性格と意義，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P.1～14
- 中村隆英：戦後日本の経済計画；経済評論 17（6），82～96（5，1968）
- * 日本経済政策学会：戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968，東京 勁草書房 5，1968，202 P. ¥960
- † 野間俊威：社会経済体制「発展」の原理—最近におけるハイマンの所説を中心に—，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P.33～43
- 大石嘉一郎：山田盛太郎「日本資本主義分析」（歴史の名著）；歴史評論（209），58～65，50（1，1968）
- 大間知啓輔：国家独占資本主義の労働政策；北九州大学商経論集 3（3/4），11～26（3，1968）
- 高橋悦夫：外務官僚の経済感覚—その二面性を分析する—；経済評論 17（4），83～93（4，1968）
- † 手嶋正毅：国家独占機構の形成・展開，「現代の経済と統計 嶋川虎三先生古稀記念」P.161～184
- 特集・経済政策の理論と課題；国民経済（111），2～59（3，1968）
- | | | |
|---------------|---------|-----------|
| I 現代経済と価格機構 | P.2～23 | 竹 中 一 雄 |
| II 現代産業と研究開発 | P.24～41 | 正 村 公 宏 |
| III 特恵関税と産業政策 | P.42～59 | 中 村 秀 一 郎 |

特集 日本資本主義百年の条件；経済評論 17(5), 39~131, 178~192
(5, 1968)

充足としての明治維新の性格 P.39~48 大石嘉一郎

外国資本への対応と資本主義の育成 P.49~59 石塚裕道

資本主義の発展と教育制度 P.60~71 海後宗臣

寄生地主制の経済的機能 P.72~82 守田志郎

天皇制—富国と強兵をめぐる— P.83~92 永井秀夫

資本の性格と大正デモクラシー—高橋財政の構想に関連して—
P.93~105 竹村民郎

井上財政から高橋財政への転換 P.106~116 大島清

裏返し, 明治百年 P.117~121 新名丈夫

戦後日本経済の基底条件 P.122~131 名島太郎

戦時経済統制の形成過程—戦時国家独占資本主義の体系—
P.178~192 安藤良雄

都留重人：経済における人間の復位—変革のための四つの政策提言—；エコノミスト
46(13), 40~59(2, 4, 1968)

山田弘史：佐藤首相の経済観—社会開発からドル防衛協力までの変転；経済評論
17(4), 72~82(4, 1968)

山越芳男：福祉国家論と増税論 1~3；自治研究 44(3), 115~160；
44(4), 87~104；44(5), 101~112(3;4;5, 1968)

柳田侃：日本資本主義の国際的地位；経済評論 17(6), 110~124
(5, 1968)

H 国民経済循環の構造

* 阿部喜三：日本の国富，東京 至誠堂 5, 1968, 200P. (経済教室
22) ¥680

回復期の北海道資金循環—41年度北海道マネーフロー分析—；調査月報(拓銀)
(194), 33~46(4, 1968)

能勢信子：社会会計の統合問題再論；経済経営研究年報 18(II), 75~101
(3, 1968)

坂本正弘：最近におけるSNA改訂の国際的動向；国民経済計算 (18), 34~
51(2, 1968)

* 統計研究会都民所得研究委員会：昭和42・43年都民経済成長率の予測について，
東京 同会 2, 1968, 32P. (都民所得研究資料 25)

J 生産の資源

* 有沢広巳；内藤 勝編：労働市場の長期展望，東京 東洋経済新報社 4, 1968,
496P. ¥1,900

内容

序文 有 沢 広 巳

総括 内 藤 勝

第Ⅰ部 労働力需給の現状と予測

第 1 章 人口構造の変化と労働力の再生産 岡 崎 陽 一

第 2 章 労働市場の構造分析—労働市場の性格とその展望 保 谷 六 郎

第 3 章 労働力供給の予測 田 中 博 秀

第Ⅱ部 労働需要の分析

第 4 章 昭和30年代における雇用変動の産業連関分析 市 野 省 三

第 5 章 投資と労働節約 辻 村 江 太 郎

第 6 章 戦後日本の労働市場と雇用制度 小 林 謙 一

第Ⅲ部 労働供給と労働移動

第 7 章 賃金上昇と農業限界生産力 鳥 居 泰 彦

第 8 章 労働移動と転職希望 小 野 旭

第 9 章 労働力の就業構成における構造的変動—マルコフ過程分析による— 清 水 良 平

第Ⅳ部 労働市場の分析

第 10 章 構造的失業と積極的労働力政策 稲 毛 満 春

第 11 章 労働市場構造の—分析 尾 高 燿 之 助

第 12 章 労働力移動と労働市場構造—昭和30年代における変化の実態分析 山 下 不 二 男

第Ⅴ部 賃金変動の分析

第 13 章 戦後における賃金変化率の分析 小 野 旭

第 14 章 賃金・生産性・物価の産業連関分析 市 野 省 三

第Ⅵ部 移行過程における労働経済の諸問題

第 15 章 労働力配置の構造的諸問題 梅 村 又 次

第 16 章 「労働力不足」についての一試論 中 村 隆 英

* 浅田喬二：日本帝国主義と旧植民地地主制—台湾・朝鮮・満州における日本人大土地
所有の史的分析—，東京 御茶の水書房 4, 1968, 289, 4P.

¥1,200

- 調査課：最近の労働経済の動向について—労働経済動向調査の結果概要—；労働統計調査月報 20(5), 4~8(5, 1968)
- 江田 忠：織物企業における労働力の実態—「織物の町」山形県米沢市の場合—；山形大学紀要(社会科学) 3(1), 93~128(1, 1968)
- 藤堂 定：戦後の山地災害発生状況；水利科学 11(6), 90~104(2, 1968)
- * 藤本 武：婦人の年齢別雇用について，東京 労働科学研究所 2, 1968.
12 P. (労働維持会資料 429, 労務人事関係)
- 船橋泰彦：所得水準の地域格差と労働力の地域的流動；研究所報 (大分大)(2), 1~32(3, 1968)
- 速水 融；安元 稔：人口史研究におけるFamily Reconstitution；社会経済史学3334(2), 1~36(5, 1968)
- 林 茂：最近における農家労働力流出構造の変貌とその問題；人口問題研究(105), 21~31(1, 1968)
- 樋口午郎：不動産の金融論的考察；不動産研究 10(2), 60~66(4, 1968)
- 北海道拓殖銀行調査部：人口，労働力その見通しと移動要因；調査月報 (拓銀)(195), 37~62(5, 1968)
- 本多秀司：農家就業動向調査と就業構造基本調査における労働異動の把握について；統計局研究彙報(17), 39~54(3, 1968)
- 市野省三(調査課)：就業構造の長期変動—労働力転移表による変化分析—；労働統計調査月報220(3), 4~12(3, 1968)
- 井上文彦(調査課)：国際比較からみた女子労働力率の特徴—女子中高年を中心に—；労働統計調査月報 20(4), 4~7, 17(4, 1968)
- 石井啓雄：現在における耕作目的の農地移動；農林統計調査 18(3), 46~53(3, 1968)
- 化学同盟調査部：化学産業における臨時工・季節工・パートタイマー・嘱託の実態；総評調査月報(19), 24~36(4, 1968)
- * 科学技術庁：科学技術白書—科学技術と経済社会—昭和42年版，東京 大蔵省印刷局 1, 1968. 358 P. ￥700
- 笠井章弘：日本経済における技術提携をめぐる諸問題(<特集>技術提携と独禁法)；公正取引(208), 7~11(2, 1968)
- 川崎逸郎：那須の地下水；水利科学 11(6), 49~62(2, 1968)

* 経済同友会：技術革新と経済・社会の変貌， 東京 鹿島出版会 2， 1968。

248P. ¥580

内容

序 石川六郎

第一部 日本の経済・社会の発展可能性と制約条件—日本の特殊性とその分析

内田忠夫

第二部 明日はどういう時代か—技術革新を中心にして—

岸田純之助

第三部 技術変化の性格と動向予測

第1章 エネルギー革命

向坊隆

第2章 資源革命

馬場有政

第3章 材料革命

牧野昇

第4章 生物学の進歩

丹羽小彌太

第5章 化学工業と技術革新

神原周

第6章 情報革命とオートメーション

北川敏男

第7章 交通・輸送革命

八十島義之助

第四部 日本の進むべき方向と経営者の役割—自らターゲットを

示し、力を結集せよ—

井深大

経済企画庁：水資源開発基本計画書；水利科学 11(6)，105～113(2，1968)

* 経済企画庁総合計画局：経済審議会地域部会報告検討資料集， 東京 経済企画協会 4， 1968， 354P， ¥700

菊池修二；吉川忠雄；佐藤源蔵：農山村における土地および水資源の立地配置とその経済的研究—混牧林経営の実態調査—；東北開発研究 7(2)，35～43(1，1968)

木許 旭（雇用統計課労働力需給第一係）：最近における労働移動の変化；労働統計調査月報 20(5)，9～13(5，1968)

小林 泰：首都圏における水資源の広域開発について；水利科学 11(6)，1～14(2，1968)

国鉄労働組合：国鉄における労働時間の実態—これで安全輸送が果せるか—；総評調査月報 (16)，2～13(1，1968)

小谷節男：技術革新の産業経済政策—新しい労働力の創出について—；社会学論集 1(4)，55～69(1，1968)

雇用統計課労働力需給第1係：女子労働力の移動状況—昭和41年雇用動向調査結果より—；労働統計調査月報 20(2)，10～14，31(2，1968)

- 釘宮保雄：大分県の人口，労働，物価，賃金；研究所報（大分大）（2），216～240（3，1968）
- 栗田明良：都市近郊野菜作地帯における農業労働の実態—経営「近代化」との関連において—；労働科学 44（2），97～105（2，1968）
- 栗山栄治：労働力不足をカバーした労働生産性；通商産業研究 16（2），61～72（4，1968）
- 黒田俊夫：自然動態の逆転と人口移動—地域人口変動パターン—の分析—；人口問題研究（105），12～20（1，1968）
- 松本広治：羽越災害のあらまし；水利科学 11（6），63～69（2，1968）
- 榎 学：戦後労働経済分析の諸論点(1)—賃金形態論—；社会学論集 1（4），34～54（1，1968）
- 永野不二朗（雇用統計課）：建設業における労働力の流動状況—41年「雇用動向調査」の結果から—；労働統計調査月報 20（1），21～26（1，1968）
- 中樞 興；吉原喜久一：漁業における労働災害の研究—以西底曳網漁業を中心に—；産業労働研究所報（45），48～55（3，1968）
- 西川 喬：治水長期計画の歴史（XⅦ）；（XⅧ）；水利科学 11（6），114～134；12（2），120～148（2；4，1968）
- 小川 登：労働経済論の方法—「賃労働の理論」の対象と方法—；経済論叢 101（2），64～82（2，1968）
- 大橋一雄：水稲作労働と労働時間—水稲作労働における労働科学的研究—；労働科学 44（5），258～275（5，1968）
- † 岡本清造：中小漁業雇用改善の基本問題—就業規則を中心に—，「現代の経済と統計 蜷川虎三先生古稀記念」 P.275～303
- 大河 寛：農地転換の一類型；不動産研究 10（1），38～45（1，1968）
- * 労働調査論研究会：労働調査論研究会中間報告—労働調査の方法について—，同会 3，1968. 189P.

内容

I

- | | |
|------------------------|-------|
| ウェブの労働調査論—労働組合論を中心にして— | 高橋克嘉 |
| ブースのロンドン調査について | 下田平裕身 |
| マルクスの労働調査論 | 栗田健 |

II

- | | |
|-------------|--------|
| 大河内調査論について | 兵藤 劍 |
| 法社会学における調査論 | 氏原 正治郎 |
| 舟橋論文について | 高橋 洸 |

産業社会学の労働調査論

石川 晃 弘

Ⅲ

調査論についての私見

氏原 正治郎

コメント

小池 和 男

コメント

戸塚 秀 夫

附録 1. 昭和41年度文部省科学研究費(試験)申請書控

2. 労働調査論文文献一覧(抄)

- † 坂寄俊雄：既婚女子労働者に関する一研究—相対的過剰人口研究ノート—，「現代の経済と統計 蜷川虎三先生古稀記念」 P.239～274
- 佐藤浩一：現代における雇用政策の考察；経済研究（大阪府立大） 13（2），1～22（4，1968）
- 佐藤浩一：労働移動の経済的効果；社会思想研究 20（2），18～27（2，1968）
- 佐藤俊朗：越前平野の自然条件と農業水利構造（Ⅰ）；（Ⅱ）；水利科学 11（6），15～48；21（1），81～108（2；3，1968）
- 茂森照男（雇用統計課）：建設業における雇用の動向；労働統計調査月報 20（3），20～23（3，1968）
- 下山；久住（調査課）：労働市場統計からみた「労働力不足」の実態—事例分析を中心—；労働統計調査月報 20（2），4～9，24（2，1968）
- 高田光男：上質紙マシンに関する労働条件調査；総評調査月報（17），9～24（2，1968）
- 立野 清：戦後の治山長期計画と技術の進展；水利科学 12（1），127～142（3，1968）
- 土地所有形態再構成の諸論点—1967年度秋季学術大会共通論題準備研究会の記録—（研究動向）；土地制度史学 10（2），60～69（1，1968）
- 特集 労働力不足とその対策；労働問題（120），63～82（4，1968）
- 経済成長と労働需要 P.63～70 内田 忠 夫
- 産業界の労働力不足対策 P.71～76 沢 間 康 雄
- 最低賃金制の原理 P.77～82 辻 村 江 太郎
- * 東京商工会議所企業経営部労働課：企業における労働力の需要予測調査—今後の量的・質的両面の需要見透し—，東京 東京商工会議所 1，1968. 142 P.（労働問題資料 第29号）
- † 上杉正一郎：出生性比について，「現代の経済と統計 蜷川虎三先生古稀記念」 P.77～90
- 渡辺兵力：地域人口の動態；農業総合研究 22（2），179～202（4，1968）

山口喜一；山本道子：昭和40年を中心とする都道府県別標準化人口動態率；人口問題研究（105），54～58（1，1968）

K 生産と生産活動

K1 生産と生産性

経済統計課労働生産性係：労働生産性変動の構造；労働統計調査月報 20（1），14～20（1，1968）

K2 産業構造 産業組織

阿部昌夫：企業誘致条例の現状—地方自治体と誘致条例—；工業立地 7（4），4～23（4，1968）

秋谷重男：日本資本主義と都市問題；現代の理論（51），66～76（4，1968）

天谷章吾：最近の自動車部品工業系列化の動向；レファレンス（205），82～96（2，1968）

青山干城：東北地方都市についての一考察；開発金融（9），24～35（2，1968）

馬場正雄：日本産業の構造変化—最近の経済統計改定にみる—（時事経済）；日本経済研究センター会報（78），9～17（15，4，1968）

米花 稔：欧米の現段階における地域開発計画の課題とわが国の場合—国連 E C E 資料を中心として—；経済経営研究年報 18（Ⅱ），1～20（3，1968）

米花 稔：わが国企業の業種別地域的性格の推移—立地の業態的考察—；国民経済雑誌 117（5），1～21（5，1968）

* 中小企業庁：中小企業白書 昭和42年度，東京 大蔵省印刷局 4，1968。472，43P。¥660

* 藤田敬三；竹内正巳編：中小企業論，東京 有斐閣 2，1968。255P。（有斐閣双書） ¥450

† 後藤文利：中小企業存続論，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P.79～87

後藤文利：中小企業存続論；商経学叢（35/36），16～32（4，1968）

原田統之介：北九州市中小工業の最近の動向—とくに100～299人層について—；九州工業大学研究報告（人文・社会科学）（16），7～30（3，1968）

早瀬利雄：首都圏総合計画と神奈川県の問題（前編）；経済と貿易（96），1～32（3，1968）

林 信太郎：国際企業をめざす産業再編成—高まる大型合併の波—；エコノミスト
46(18), 34~42(30, 4, 1968)

* 市川弘勝編著：現代日本の中小企業，東京 新評論 5, 1968. 352 P.
¥680

内容

序章	市川弘勝
第一章 中小企業の構造変化	渡辺 睦
第二章 中小企業の「近代化」政策	福島久一；中山金治
第三章 中小商業問題	
一 日本資本主義と中小商業問題	安田茂雄
二 独占の流通過程・商業部門支配	岡村明達
三 流通「近代化」政策と中小商業	
第四章 下請系列再編成の進展	
一 独占支配の強化と中小資本利用の構造変化	池田正孝
二 産業再編成進展と下請系列化	
三 下請系列の集約化と下請管理の強化	市川弘勝
四 内外独占資本の進出による中小企業再編成の進展	
第五章 中小企業の金融問題	山下俊郎
第六章 中小企業と税制	谷山治雄
第七章 中小企業の労働問題	
一 中小企業の労働市場と賃金	牧野富夫
二 中小企業労働者の労働運動	川辺平八郎
第八章 零細企業の問題	中山金治
第九章 倒産問題	藤井 寛
第十章 中小企業「近代化」論批判	佐藤芳雄
第十一章 中小企業家・零細業者の運動	山口良行

池田善長：都市発展とNew Townの公共開発 I —地域計画の上から—；経済
論集（北海学園大）（19），21~44（2，1968）

* 今井幸彦編著：日本の過疎地帯，東京 岩波書店 5, 1968. 200 P.（岩波
新書 678） ¥150

猪俣幸一：都市計画における土地利用の研究；社会科学ジャーナル（7），1~
37（4，1968）

磯村英一：日本の都市化と地方中堅都市構想；不動産研究 10（1），8~15
（1，1968）

- 伊藤俊夫：都市的集積の分析—スビーゲルマンの所説—；経済学研究（北大） 18
（1），1～24（3，1968）
- † 伊藤善市：拠点開発政策と都市形成，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年
報XⅦ—1968」P.95～104
- 亀井正義；仲田正機：高度経済成長下の地域経済—長崎県佐々町を例として—；国際
経済大学論集 1（2），99～124（2，1968）
- 寡占化の新段階と産業政策（座談会）：上野裕也；力石定一；中村秀一郎；林 信太
郎；東洋経済（3406），84～96（11，5，1968）
- 川上秀光：大都市計画の論理と出発点；世界（269），213～224（4，
1968）
- 菊地一郎：奈良県工業の地域構造；奈良教育大学紀要（人文・社会科学） 16
（1），53～70（2，1968）
- 木内信蔵：都市の本質とその問題；開発金融（9），18～23（2，1968）
- * 公正取引委員会事務局経済部調査課：主要産業における生産集中度 昭和38年～昭
和41年，東京 同課 3，1968. 114 P.
- 牧谷；田辺；佐藤；池田：パターン解析への提案=4；5（最終回）＜日本列島の地
域構造・図集＞を読む；地域開発（41），39～44；（42），58～64
（2；3，1968）
- 正井泰夫：世界的視野から見た日本の都市の過密さ；国民生活研究 7（4），1～
13（5，1968）
- * 松岡一男：中小企業論，東京 新生社 4，1968. 228 P. ￥1,000
- 松島静雄；羽田 新；石川晃弘：中小企業における集団化—清水地区木材産業の事例
—；社会科学紀要（東大）（17），1～118（3，1968）
- 松浦茂治：鉄鋼・石油等装置系工業の瀬戸内地域・大分地区への立地について—主と
して貿易面より考察—；研究所報（大分大）（2），94～132（3，
1968）
- * 三井田一男；高田康治編：日本の都市政策，東京 合同出版 4，1968. 361 P.
￥1,000
- 三品頼忠：中小工業集団の構造変化；名城商学 17（4），131～158（3，
1968）
- * 宮沢 弘：新国土計画論—土地利用計画の提唱—，東京 有斐閣 3，1968.
292 P. ￥1,200
- 森川英正：三井財閥の多角的重工業化過程（下）；経営志林 5（1），1～26
（4，1968）
- 永田浩二：下請関連業種の再配置問題；工業立地 7（5），40～48（5，
1968）

- 十 新野幸次郎：戦後二十年の産業組織政策，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XⅦ—1968」P.20～32
- 20年後の日本 高密度経済社会—経済審議会地域部会報告について—（対談）：出席者 徳永久次；鈴木雅次（あいさつ）伊藤俊夫；工業立地 7（1），38～49（1，1968）
- * 日本工業立地センター：わが国産業基盤の現況と整備計画，通商産業省企業局立地公害部監修，東京 同センター 5，1968. 774P. ￥9,000
- * 日本リサーチセンター：20年後の都市生活，安永武巳監修，東京 東洋経済新報社 4，1968. 271P. ￥980
- 仁科正夫：都市における生活の二重構造；現代の理論（51），77～84（4，1968）
- 岡崎昌之；小栗幸夫：東海道メガロポリスの現況と諸問題；地域開発（42），43～51（3，1968）
- 大野信三：現代における企業の集中；商経論叢（神奈川大）3（3），1～31（2，1968）
- 太田進一：「下請制」と「企業系列」に関する学説史的研究；同志社大学大学院商学論集（2），32～62（3，1968）
- 大塚金久：二十年後の地域経済社会の展望と課題；自治研究 44（1），115～136（1，1968）
- 斎藤守生：地域開発と商圏変動—大分県の場合—；研究所報（大分大）（2），133～168（3，1968）
- 斎藤定信：中小企業工場団地の現況；工業立地 7（3），17～23（3，1968）
- 酒井惇一；渡辺 基：東北・北海道の産業構造と地域開発；農業経済研究報告（9），33～86（3，1968）
- 第1部 東北の産業構造と地域開発 P.33～53 酒井 惇 一
第2部 北海道の産業構造と地域開発 P.55～86 渡辺 基
- 坂下 昇：「全国地域計量モデルの研究」を読んで；東北開発研究 7（2），4～12（1，1968）
- * 佐貫利雄：地域開発と金融，東京 全国地方銀行協会 1，1968. 355P.（銀行叢書 第143巻）
- 重光 蔵：地域開発，その理念と条件；研究所報（大分大）（2），74～93（3，1968）
- 重光 蔵：明治100年，大分県開発の前後 研究所報2号への資料と感想；研究所報（大分大）（2），241～259（3，1968）

末石富太郎：都市開発と水質汚濁防止—計画的な立場と水質経営との関連—；水利科学 12(1), 1~21(4, 1968)

鈴木諒一：地域計量モデルの性格について；三田商学研究 11(1), 73~94(4, 1968)

鈴木信太郎：東京50軒の都市構造と交通計画(その2)；不動産研究 10(1), 56~62(1, 1968)

* 竹林庄太郎；上林貞次郎；前川恭一；牟礼早苗：中小企業の研究，京都 ミネルヴァ書房 2, 1968, 302P. (経営経済学選書 4) ¥1,400

内容

第1部 ヨーロッパの中小企業

第1章 独占資本主義とドイツ小売商—発展史的考察— 上林貞治郎

第2章 イギリスの中小企業 竹林庄太郎

第2部 日本の中小企業

第3章 資本主義の発展と中小工業問題 前川恭一

第4章 下請制度の歴史的考察—泉南機業における問屋制から
下請制への展開過程 前川恭一

第5章 戦後日本の中小工業問題 牟礼早苗

田中 博：地域開発研究の問題点；商経学叢(35/36), 1~15(4, 1968)

田中 穰：鐘紡と東邦レーヨンの合併<未遂>—繊維独占資本の再編成—；名城商学 17(4), 159~189(3, 1968)

* 統計研究会地域開発研究委員会：明石鳴門架橋による地域開発における意義及び国民経済的效果等についての調査研究 第2次報告書，東京 同会 3, 1968, 130P.

内容

序文 中山伊知郎

I 総論 要約と提言 P.1~15 伊藤善市

II 架橋投資の国民経済的意義 P.16~20 坂本二郎

III 大規模プロジェクトとしての架橋 P.21~28 吉田達男

IV 地域間交流と観光産業への効果 P.29~108 佐貫利雄

V 投資効果の計量について P.109~125 宮沢健一

VI 「中四国地域体制研究調査報告書」における藤井モデルについて P.126~130 荒憲治郎

* 統計研究会地域開発研究委員会：明石鳴門架橋の投資効果の計量分析—西日本経済分析用・地域間産業連関の拡大モデルによる計量分析，東京 同会 3, 1968, 101P.

* 統計研究会国際経済研究部会：資本自由化と産業構造に関する研究，東京 同会
3, 1968, 62 P. (国際経済研究資料 30)

内容

第1章 貿易・資本の自由化と産業政策の考え方 P.1～34 篠原三代平

第2章 資本自由化と中小企業—製造工業について— P.35～
48 泉三義

第3章 西ヨーロッパにおける資本自由化をめぐる問題点—西ド
イツを中心として— P.49～62 巽博一

特集・圏・ブロック総合開発計画；地域開発(43), 1～76
(4, 1968)

北海道の総合開発計画 P.1～9 蝦名賢造

東北開発の諸問題 P.10～16 東北経済連合会事務局

首都圏総合計画と市民計画 P.17～24 小川忠恵

中部圏開発整備に関する提案について P.25～36 中部開発センター

近畿圏整備と大阪の再開発 P.37～48 真島毅夫

「中国地方のビジョン」について(試案) P.49～57 竹内晴雄

国土総合開発への私見—四国開発の側に立って— P.58～
70 山本輝幸

九州ブロック総合開発計画 P.71～76 毛利広

特集・産業立地；地域開発(44), 13～76(5, 1968)

農業立地の諸問題 P.13～20 渡辺兵力

エネルギー産業の立地 P.21～44 矢田俊文；鈴木岑二

最近の工産業立地の動向 P.45～53 山本正雄

商業の適正配置 P.54～68 荒川裕吉

産業立地分析の手法 P.69～76 西岡久雄

特集 都市政策に関するアンケート；地域開発(40), 1～49(1, 1968)

特集・都市政策について；地域開発(41), 1～38(2, 1968)

都市行政 P.1～3 鷓飼信成

都市財政 P.4～7 遠藤湘吉

生活基盤の整備 P.8～12 磯村英一

都市交通について P.13～16 八十島義之助

都市再開発と防災問題 P.17～23 大来佐武郎

都市政策の基本理念と基本的動向 P.24～25 酒井正三郎

都市の地域社会の秩序形成 P.26～31 磯村英一

都市対策としての農業、農村対策 P.32～33 川野重任

都市政策としてのレクリエーション P.34～38 磯村英一

特集・43年度地域開発関連予算案；地域開発（42），14～42（3，1968）

地域開発関連予算の全貌 P.14～19 及川昭伍
 地域問題の視点からみた43年度公共投資 P.20～26 井上喜代重
 地方債計画と地域開発 P.27～34 小寺弘之
 ことしの農業の姿—昭和43年度農林関係予算について P.35
 ～42 京谷昭夫

* 東京都企画調整局：東京の長期展望に関する討論会議事録，東京 同局 2，
 1968，174P.（企画調査資料 18）

内容

I 各論

1. 首都地域整備政策の回顧 山東良文
2. 東京の機能 坂本二郎
3. 東京およびその周辺の地域経済（一都四県の人口・雇用・所得・生活構造に関する20年後の展望） 伊藤善市
4. 建設投資総量 吉田達男
5. 住宅および事務所の配置と交通体系について 角本良平
6. 食料需要と供給 並木正吉

II 総括討議

* 東京都立大学都市研究会：都市構造と都市計画，東京 東京大学出版会 2，
 1968，668P. ￥3,000

内容

- 序論 谷重雄
- 第1部 都市構造に関する研究—現状分析を中心に—
- 第1章 資本主義の発展と東京の都市構造—明治期の地図と統計資料よりみた— 石塚裕道
 - 第2章 社会体系としての大都市の構造と機能 大塩俊介
 - 第3章 通勤交通からみた大都市地域の構造 広瀬盛行
 - 第4章 都市の規模体系と大都市地域 渡辺良雄
- 第II部 都市問題に関する研究—問題点の分析を中心に—
- 第1章 日本の都市問題—初期の研究成果— 柴田徳衛
 - 第2章 近世都市の社会問題—江戸の地代・店賃問題を中心として— 北島正元
 - 第3章 住宅問題の展開 川名吉三門
 - 第4章 都市地域の災害と公害—環境整備計画との関連において— 中野尊正

- 第5章 都市と青少年問題 岩井 弘 融
- 第Ⅲ部 都市計画に関する研究—問題の解決策として—
- 第1章 明治期における都市計画—東京について— 石塚 裕 道
- 第2章 都市計画の計画性 赤木 須留喜
- 第3章 昭和前期の都市計画 川名 吉エ門
- 第4章 都市行政と資本予算制度 林 栄 夫;加藤 芳太郎
- 第5章 大都市圏の発展と計画—戦後の東京大都市圏
計画の変遷— 石田 頼 房
- 東京都首都整備局計画部：移転工場の現況について—工場等跡地取得事業—；工業立
地 7(5), 48~54(5, 1968)
- 上田 篤：日本都市論—知多半島で考えたこと；展望 (112), 45~60
(4, 1968)
- 上野 登：地域調査の方法論的考察；産業労働研究所報 (45), 15~27
(3, 1968)
- 釜場一郎：北九州・神戸両市の勤労者世帯の家計支出分析の資料について；北九州大
学商経論集 3(3/4), 1~10(3, 1968)
- 山田浩之；井原健雄：部門間の連関構造—「3部門分割モデル」による実証分析—；
経済論叢 101(5), 23~42(5, 1968)
- † 山田一郎：神奈川県における工業団地化の現状と課題—独占資本への奉仕的性格性批
判—，「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P.113
~127
- 山口辰男：都市の変貌と市民意識(2)—スプロール地区市民とドーナツ化地区市民との
間にみる市民意識の相違—；経済と貿易 (96), 66~98(3, 1968)
- 山中篤太郎：資本自由化と食品工業中小企業；調査時報(中小企業金融公庫) 9
(4), 1~36(3, 1968)
- 安場保吉：経済発展論における「二重構造」の理論と「日本資本主義論争」；社会経
済史学 34(1), 79~92(4, 1968)
- 安富正訓：北海道，東北の経済社会の姿と若干の地域政策についての考察—地域計量
モデルの条件付予測結果からみたところの—；開発金融 (9), 36~44
(2, 1968)
- * 矢崎武夫：現代大都市構造論—新しい人間生態学的研究—；東京 東洋経済新報社
5, 1968. 253P. ¥1,500
- † 吉沢栄蔵：工場団地の現況と問題点—静岡県下における実態—；「戦後二十年の経済
政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P.105~112
- 結城清吾：わが国開発政策の課題(一)；社会科学討究 13(3), 37~62
(3, 1968)

K3 個々の産業

- * 東京都経済局：東京の産業 昭和42年度，東京 同局 3，1968. 189P.

K3A 農業

- 浅井 昶：養豚業における系列化と養豚経営；農業経済研究報告（9），87～106（3，1968）
- † 古島敏雄：農民の技術改良と農学の発展，「高橋幸八郎；古島敏雄編：近代化の経済的基礎 大塚久雄教授還暦記念 1，東京 岩波書店 4，1968.」P.517～532
- 平野 蕃：構造改善事業の評価と展望；農業構造改善 6（4），2～6（4，1968）
- 平山嘉夫；池 善英：農地流動化に関する経営的研究；農業構造改善 6（2），9～14（2，1968）
- * 池本喜三夫：農業経営革命，東京 ダイヤモンド社 3，1968，296P. ¥450
- * 井野隆一；曙峻衆三；重富健一編：戦後日本の農業と農民，東京 新評論 5，1968. 402P. ¥900

内容

総論 戦後日本資本主義の展開と農民層分解

序章 戦後日本資本主義の再生産構造と農業問題の所在

川上正道；井野隆一

第一章 農民層分解の全国的・統計的考察 喜多克巳

第二章 戦後農政の展開と農民層分解 曙峻衆三

第三章 従属的国家独占資本主義と農村市場 重富健一

第四章 戦後農村社会の構造と変貌過程 島崎稔

各論 農民層分解の諸相

第一章 稲作 河相一成；酒井惇一

第二章 畜産 鈴木文薫

第三章 果樹 笹木昭

第四章 園芸 関田英里

第五章 山村 橋本玲子

- 石黒重明：構造改善の村のその後 富山県礪波市東野尻地区の場合；農業構造改善 6（5），2～7（5，1968）

- * 石渡貞雄：農業経済学原論 農業経済学(上)，東京 垂紀書房 4，1968
212P. ¥600
五十鈴川 寛：裏東北稲作地帯における機械化と生産組織の動向；農業経済研究報告
(8)，67～108(2，1968)
岩崎和夫：畜産および飼料の需給動向；通商調査月報 (143)，2～21
(1，1968)
解説 昭和42年度農業白書
第1部 農業の動向
第3部 昭和42年度において講じようとする農業施策；農林統計調査 18
(4)，1～64(4，1968)
金沢夏樹：農業経営の個別性と集団性；農業構造改善 6(1)，9～13(1，
1968)
金子 良：水田圃場整備の問題点；農業構造改善 6(4)，7～12(4，
1968)
加藤功男：平坦でないたばこ作農家の前途；農林統計調査 18(5)，56～
63(5，1968)
河村 望：日本農村の支配機構—農村社会学における「近代化」論の批判—；人文学
報 (東京都立大)(64)，27～80(3，1968)
小林 茂：都市化にともなう農村経済構造の変容；社会科学ジャーナル (7)，
85～197(4，1958)
小林康平：牛乳の出荷および集乳費用の研究—罐集乳方法とバルク集乳方法の比較—；
農業総合研究 22(2)，39～98(4，1968)
児島俊弘：都市と地域青果市場システム—地方都市のケース・スタディー—；農業総合
研究 22(2)，99～137(4，1968)
* 栗原藤七郎：現代文明と農業問題，東京 未来社 5，1968. 295P.
¥800
馬越佑次郎：跋行現象めだつ近年の農産物市場；農林統計調査 18(5)，36～
40(5，1968)
* 真継 隆：経済発展と農業生産—(文部省科学研究費補助金特定研究課題番号
957018)—；京都 京都大学経済研究所 3，1968. 28P.
(KIER 6802)
光岡浩二：近郊農業の地理学的研究法；名城商学 17(4)，105～130
(3，1968)
三浦文夫：農家と医療保障の若干の問題点について；農林統計調査 18(2)，
7～11(2，1968)

- 三輪昌男：協合理論の若干の検討（一）—近藤理論系譜の諸研究について—；社会科学研究（東大） 19（4），77～118（3，1968）
- 水原正亨：日本の経済発展と農業 Agricultural production and the economic development of Japan 1873-1922 — By James I. Nakamura—(Princeton, Princeton University Press, 1966)〔紹介〕；大阪大学経済学 17（4），105～115（3，1968）
- * 森 博男：農民層分解の研究，名古屋 愛知学院大学経営研究所 4，1968。231P。（愛知学院大学経営研究所研究叢書 第2号）
- 長野直臣：農地改革と農業水利；水利科学 12（2），57～76（4，1968）
- 中山誠記；唯是康彦：食糧需給の国際比較；農業総合研究 22（2），1～38（4，1968）
- * 農林省：農業の動向に関する年次報告 昭和42年度；昭和43年度において講じようとする農業施策〔第58回国会（常会）提出〕，東京 同省 1968。231；61P。2冊
- * 農林省大臣官房調査課：計量経済モデルによる牛乳経済分析，東京 同課 3，1968。185P。（計量資料 3）
- * 農林統計協会：図説 農業年次報告 昭和42年度，東京 同協会 3，1968。64，231，61P。¥600
- * 林野利用—東北地方における農業的・農民的開発の実態—，東京 農政調査委員会 3，1968。119P。（日本の農業—あすへの歩み—57）
- 内容
- 第1部 課題へのアプローチ 森 巖 夫
- 第2部 コメント（石川英夫；横尾正之；森 巖 夫；東畑四郎；大内 力；笠井恭悦；今村奈良臣；阿部正昭）
- * 佐賀米作地帯の階層分化，東京 農政調査委員会 2，1968。98P。（日本の農業—あすへの歩み—56）
- 内容
- 第一部 課題へのアプローチ 高 島 昭 二 郎
- 第二部 コメント：石川英夫；松尾孝嶺；坂本楠彦；小倉武一；高島昭二郎；今村奈良臣；綿谷勉夫；赤嶋昌夫；田中 定；東畑四郎
- 酒井淳一：請負耕作に関する一考察—新潟県蒲原平野における貸借型請負耕作の分析—；農業経済研究報告（8），39～65（2，1968）
- 清水良平：養蚕農家の地域性とその階層変動；農業総合研究 22（2），137～177（4，1968）

嶋 常次郎：水稲生産力の段階的発展と大豊作—土地生産性の段階的発展についての統計的解析試論—(一)；(二)；農林統計調査 18(1)，61～63；18(2)，53～63(1；2，1968)

高橋寛次：たばこ作経営の現状と問題点—宮城県黒川郡大郷町の実態から—；農業経済研究報告 (8)，109～130(2，1968)

田中 修：農家の蓄積に関する一考察；国民経済雑誌 117(4)，19～33(4，1968)

* 東畑精一編：日本農業の変革過程，東京 岩波書店 5，1968. 567P.

¥2,000

内容

序章 高度経済成長期の農業 東畑精一

第一部 農家経済および農政

第一章 農業人口の流出と農家の変動 佐伯尚美

第二章 農産物需給と価格 鈴木博

第三章 農業政策の対応 大内力

第四章 農業関連産業の展開 柴垣和夫

第五章 農業協同組合の発展と変貌 斎藤仁

第二部 農業技術の展開過程

はじめに 戸畑義次

第一章 稲作技術の発展 仮谷桂

第二章 畑作技術の展開 戸畑義次；長谷川新一

第三章 蔬菜園芸の発展 杉山直儀

第四章 果樹生産における技術革新 松原茂樹

第五章 畜産技術の展開 内藤元男

第六章 養蚕技術の変化 横山忠雄

第三部 最近における農業経営の展開過程

第一章 農業経営成果の概況 菊地泰次

第二章 農業経営の構造的変化 阿部亮耳

第三章 農業経営方式の変化 貝原基介

第四章 技術進歩と農業経営 頼平

第五章 新しい方向の模索 桑原正信

第四部 農村の社会的変動

第一章 変動する農村 福武直

第二章 家族生活の変化 //

第三章 村落社会の変化 //

- 第四章 地方自治と農村 福 武 直
- 第五章 農村と国の政治 //
- * 統計研究会農業統計研究部会：集団栽培と米作生産力，東京 同会 3，1968.
66 P. (農業統計研究資料 32)
- 内 容
- 第1章 集団栽培と米作労働生産性(調査結果の概要) P. 1~10 大 島 清
- 第2章 集団栽培と米作労働 P. 11~38 白 川 清
- 第3章 集団栽培と農民層 P. 39~66 五 味 健 吉
- 特集<経済調査>：東京農林統計季報(16)，2~21(1，1968)
- 養鶏経営の現状と問題点 P. 2~6 小 嶺 健 二
- 近郊農家の経済構造 P. 8~17 渡 辺 正五郎
- 昭和41年度農業経営調査の成績 P. 18~21 安 井 昭 一
- 特集 昭和42年産水稻豊作要因の統計的分析；農林統計調査 18(3)，8~
38(3，1968)
- 42年産水稻豊作要因の統計的分析 P. 8~14 中 西 幸 生
- 水稻生産力の動向と発展の条件 P. 15~20 原 田 弘
- 山形県における42年稲作の豊作要因を探る P. 21~26 松 本 欣 也
- 滋賀県における昭和42年稲作の豊作要因を探る P. 26~30 松 尾 宗 次
- 福岡県における42年稲作の豊作要因を探る P. 31~34 原 田 健 造
- 近年における稲作技術の性格——42年豊作をもたらしたもの——
P. 35~38 仮 谷 桂
- * 富山県農業水産部：農業のうごき，富山 同部 3，1968. 268 P.
- 植松五郎；小林健治；新居見高治；田川純一；米崎末光：特集 解散協業経営の実態を
探る<畜産部門解散協業経営の事例を中心に>；農林統計調査 18(2)，
12~27(2，1968)
- 渡辺兵力：過疎地域農業問題への接近(未完)；農業構造改善 6(5)，8~12
(5，1968)
- 渡辺 基：開拓地大規模草地酪農の組織と経営；農業経済研究報告(8)，1~38
(2，1968)
- 屋宜宣二郎：全町に展開される機械化・近代化農業——静岡県大浜町全町構造改善事業
の実態と問題点——；農業構造改善 6(1)，2~8(1，1968)
- 矢尾板日出臣：山麓豪雪村における農業構造の展開方向——米・豚の新潟県南蒲原郡下
田村——；農業構造改善 6(2)，2~8(2，1968)

* 吉村正晴；都留大治郎：経済発展と小農法則，東京 御茶の水書房 3，1968.

394 P. ¥1,800

内 容

序説 問題の提起と全体の素描	都 留 大治郎
第1部 現段階の小農法則	
Ⅰ 蓄積と市場の発展速度との相関性	吉 村 正 晴
Ⅱ 資本蓄積と農産物価格問題	花 田 仁 伍
Ⅲ 小農における地代	田 代 隆
Ⅳ 分割地農民と価値法則	中 村 清
Ⅴ 改革後の地代形態と農地価格	伊 東 勇 夫
Ⅵ 農民階層分化の形態	綿 谷 尠 夫
第2部 分解の現局面	
Ⅰ 経済発展と農業就業人口・戸数	並 木 正 吉
Ⅱ 水田地帯における富農形式	愛 甲 勝 矢
Ⅲ 戦後における果樹農業の展開構造	宮 島 昭二郎
Ⅳ 養豚の経済分析	山 本 雅 之
Ⅴ 和牛の生産と流通	上 村 剛 一
Ⅵ 林野所有と山村民 — 後進地育林化の反省のために —	竹 内 英 夫
Ⅶ 農業近代化と小農経営の展望 — 自小作前進論の位置づけ —	都 留 大治郎

K3B 林 業

白書を解析する — 第四回林業白書をめぐって — (座談会)，出席者 赤羽 武；
奥地 正；松本謙蔵；村島由直，司会 高野了乙；林業経済(234)，7~31
(4, 1968)

* 農林統計協会：図説 林業年次報告 昭和42年度，東京 同協会 3，1968.

41, 219, 73, 30 P. ¥500

* 林野庁：林業の動向に関する年次報告 昭和42年度，東京 日本林業協会 3，

1968. 219, 73, 30 P. ¥450

白鳥 明：木材の需給動向；通商調査月報(143)，22~33(1, 1968)

K3C 漁 業

中野 卓：北大吞諸村とその鰯網の変遷；能登灘浦台網漁業史(その四) — 庵鱈大
敷網株式会社と村落構造の機能連関 — ；社会科学論集(教育大)(15)，1~
80(3, 1968)

田沢英一：尾鷲市三木浦の漁業調査報告（3）－カツオ・マグロ漁業における資本と労働－；法経論集（静岡大学法経短期大学部研究紀要）（24），33～62（2，1968）

K3D 鉱業

- * 小葉田 淳：日本鉱山史の研究，東京 岩波書店 5，1968. 760，32 P. ¥2,500

K3E 建設業

菊地利夫：骨材砕石業の発展とその諸問題；水利科学 12（2），1～19（4，1968）

K3F 工業 製造業

- * 林 喜世茂；中村忠一：石油化学の将来，東京 東洋経済新報社 4，1968. 266，5P. ¥480
- * 上林貞治郎；井上 清：工業の経済理論 増訂版 京都 ミネルヴァ書房 5，1968. 370 P. 附録（一）参照文献 P. 345～352 附録（二）参考文献解説（研究案内） P. 353～370 ¥1,200
- * 川崎 勉：戦後鉄鋼業論，東京 鉄鋼新聞社 3，1968. 666，13 P. ¥2,000
- 小林靖雄：資本自由化と自動車工業－イギリスおよびEECにおける展開を中心として－；調査時報（中小企業金融公庫）9（4），37～46（3，1968）
- * 小平勝美：自動車，東京 亜紀書房 5，1968. 410 P.（野口 祐監修 日本産業経営史大系 第5巻） ¥1,200
- 腰原久雄；三浦 東；阿妻和子：規模の経済と機械工業についての一考察；機械経済研究（1），49～59（3，1968）
- † 中村 精：名古屋地方陶磁器工業組織論—競争と独占の日本的形態—；「戦後二十年の経済政策—日本経済政策学会年報XVI—1968」P. 88～94
- 日本紡績協会：特集 昭和42年中の紡績業；日本紡績月報（257），11～99（5，1968）
- 日本紡績協会調査部：特集 紡績業における構造改善問題とその経緯；日本紡績月報（256），28～76（4，1968）

- 大橋周治：寡占体制に向かう鉄鋼業界 — 八幡・富士合併の問題点をつく — ; エコノミスト 46(19), 14~20(7, 5, 1968)
- 佐藤満秋：鉄工業生産と国際収支 — 国際収支悪化の責任を担った鉄工業生産 — ; 通商産業研究 16(2), 41~60(4, 1968)
- 佐藤満秋：世界二位に達した工業生産水準; 通商産業研究 16(2), 21~40(4, 1968)
- 柴田純一郎：機械工業における生産力構造の検討 — 昭和30年, 35年, 40年における生産力指標の比較 — ; 機械経済研究(1), 29~48(5, 1968)
- 高橋 昇：規模の経済 4 鉄鋼業 — 1000万トン製鉄所の意味するもの — ; 経済評論 17(4), 111~119(4, 1968)
- 高村直助：日本紡績業の確立と構造(一) — 一八九〇~一九〇〇年 — ; 社会科学研究(東大)19(4), 1~76(3, 1968)
- 富森虔児：戦後日本の電気機械産業; 経済学研究(北大), 18(1), 25~86(3, 1968)
- * 通商産業省大臣官房調査統計部統計解析課：昭和42年の鉄工業生産活動, 東京 産業材料調査研究所 3, 1968, 207P. (統計解析シリーズ 110)
- わが国自動車需要の中期見通し — その成長屈折点についての試論 — ; 調査月報(開銀) 17(2), 3~46(5, 1968)
- 山田英一：鋼鋼原料の輸入動向; 通商調査月報(143), 34~51(1, 1968)
- 山浦鉄一：鉄工業生産と物価動向 — 根強い工業製品の価格上昇 — ; 通商産業研究 16(2), 73~89(4, 1968)
- 吉田 稔：拡大上昇を続けた鉄工業生産 — 四二年の鉄工業生産活動の特色と今後の見通し — ; 通商産業研究 16(2), 2~20(4, 1968)
- 吉永芳史：東北地方と自動車産業; 東北開発研究 7(3), 4~8(4, 1968)

K3G 商 業

- 荒川祐吉：スーパーマーケットとセルフサービス店の国際比較; 調査月報(国民金融公庫)(86), 57~74(5, 1968)
- * 中小企業振興事業団：経営機能調査報告書 — 我国商業の生産性分析 — , 東京 同事業団 3, 1968, 38P.
- 藤田貞一郎：中央卸売市場法の成立と生鮮食料品市場の構造 — 日本資本主義発達史の一齣 — ; 松山商大論集 18(6), 1~38(2, 1968)
- 細野孝一：日本とアメリカの小売商業センサスについて; 調査月報(国民金融公庫)(86), 34~56(5, 1968)
- 井上忠勝：わが国における百貨店企業の成立と模写的企業者; 経済経営研究年報 18(II), 45~73(3, 1968)

村本福松：百貨店の分店経営に関する日米比較：調査月報（国民金融公庫）（86），
20～33（5，1968）

* 中瀬寿一：日本広告産業発達史研究，東京 法律文化社 4，1968。495，3P
¥2,000

* 大阪府立商工経済研究所：大阪における小売市場の実態調査，大阪 同所 5，1968。
230P。（経研資料 462）

杉村暢二：中心商店街の繁華度指数と業務中心地（CBD）の類型に関する路線地価の
研究：不動産研究 10（1），90～95（1，1968）

K3H エネルギー産業

* 石油連盟調査室委員会原油グループ：石油産業論—原油の実態とその経済的検討—，
東京 東洋経済新報社 4，1968。296P。¥1,200

吉村正晴：エネルギー産業としての石炭鉱業の地位の変遷に関する若干の資料；産業労働
研究所報（44），45～70（3，1968）

K3J 運輸 交通

阿部三夫：経済発展と物的流通革新—運輸経済懇談会中間報告—；運輸調査月報9
（10），16～24（1，1968）

* 有末武夫：日本の交通—その地域的考察—；東京 古今書院 5，1968。
395P。¥2,800

福島真義：バス事業の労務問題とワンマン化への期待；運輸と経済 28（3），37～
47（3，1968）

日比野和幸：国鉄赤字線廃止案をめぐって；運輸と経済 28（2），21～27（2，
1968）

市嶋武視：将来の国内鉄道網；運輸と経済 28（5），23～31（5，1968）

伊藤毅一：航空事業における生産性と労使—日本航空の場合—；運輸と経済 28
（3），58～65（3，1968）

* 角本良平：鉄道と自動車 1億2000万人の交通計画，東京 日本経済新聞社 2，
1968。207，ivp。（日経新書 70）¥260

橋高弘昌：国鉄経営と賃金；運輸と経済 28（3），13～21（3，1968）

国鉄を考える—公共料金問題を考える前提として—（対談），丸山英人；伊東光晴；
運輸と経済 28（4），30～38（4，1968）

* 増井健一：交通経済論，東京 東洋経済新報社 4，1968。230P。¥850

- 松平 精：電子技術から見た将来の鉄道交通；運輸と経済 28(5), 17~22
(5, 1968)
- 松浦道夫：都市交通ワーキング・グループの中間報告について；運輸調査月報 9
(10), 25~30(1, 1968)
- 桃井直造：首都高速道路の必要性和その現況；不動産研究 10(2), 34~59
(4, 1968)
- 小川博三：都市交通流の実態と対策に関する一考察；運輸と経済 28(2), 39~
46(2, 1968)
- 岡田秀雄：東京都における野菜・果物の輸送；運輸調査月報 9(11/12), 1~
12(3, 1968)
- 岡本哲治：国鉄の独立採算制と運賃決定原則；運輸と経済 28(2), 13~20
(2, 1968)
- 岡野行秀：国鉄財政と定期旅客運賃；運輸と経済 28(4), 19~27(4,
1968)
- 大島国雄：独立採算制の基本理念；運輸と経済 28(4), 12~18(4,
1968)
- 太田恒武：交通事業の労使関係をめぐる法的諸問題 — 最近の福島交通事件から — ；
運輸と経済 28(3), 24~36(3, 1968)
- 佐々木誠治：神戸港の発展指標について(その一) — 貿易量指標と船舶量指標との関
連を中心に — ；経済経営研究年報 18(II), 21~43(3, 1968)
- 佐竹義昌：交通業における生産性と賃金；運輸と経済 28(3), 3~12(3,
1968)
- 渡谷行雄：道路行政と行政広域化 — 公共投資, 特に道路投資の経済効果に関する研究
— ；社会科学ジャーナル(7), 63~84(4, 1968)
- * 総理府：陸上における交通事故 — その現状と対策 — 昭和42年度版, 東京 大蔵省
印刷局: 1, 1968. 250P. ¥400
- 田上稔治：国鉄財政の危機と国鉄法；運輸と経済 28(2), 9~12(2,
1968)
- 田口芳明：郊外鉄道における競争の特質 — 関西地方鉄道史への覚え書き — ；研究と
資料(大阪市立大)(26), 69~97(3, 1968)
- 田原栄一：観光客動態統計の方法的基礎 — 運輸省の観光地入込観光客調査基準を中心
として — ；研究所報(大分大)(2), 33~73(3, 1968)
- 高橋和也：日本道路公団の事業の現況とその問題点；不動産研究 10(2), 67~
79(4, 1968)
- 田中白有：都営交通事業財政再建計画の意義と問題点；運輸と経済 28(3),
48~56(3, 1968)

- 津崎武司：国内空運の現状と将来；運輸と経済 28(5), 42~50(5, 1968)
- 梅本義人：交通投資よりみた昭和43年度予算；運輸と経済 28(4), 40~46(4, 1968)
- * 運輸省：運輸部門を中心とした地域間産業連関表の作成と解析—グラフイテイ・モデルによる地域流動分析—, 東京 同省 3, 1968. 57P
- 運輸省大臣官房統計調査部調査解析課：物資の地域別需給と流動調査について；運輸調査月報 9(10), 1~15(1, 1968)
- * 運輸省大臣官房統計調査部調査解析課：昭和40年産業連関表 運輸省担当部門推計作業報告(案) 総生産額・投入・産出配分に関する推計作業等について；(付表), 東京 同課 3, 1968. 157; 103P. 2冊
- * 運輸省港湾局臨海工業地帯課：港湾投資の地域開発に及ぼす効果に関する調査報告書(港湾資産の把握と分析), 東京 同課 3, 1968. 81P. (港臨計資 42-4)
- 占部都美：国鉄財政の再建について；運輸と経済 28(2), 3~8(2, 1968)
- 八十島義之助：首都圏地域の交通体系；運輸と経済 28(5), 2~16(5, 1968)
- 吉兼三郎：道路交通はどうなる；運輸と経済 28(5), 34~41(5, 1968)

K 3 L サービス業

- * 総理府内閣総理大臣官房審議室：観光白書 昭和43年版, 東京 大蔵省印刷局 5, 1968. 285P. ¥340
- 特別調査 情報産業は離陸する；東洋経済(3406), 44~59(11, 5, 1968)

L 企業経営

- 相原 光：東南アジアにおける日本の企業進出(3)；経済と貿易(96), 99~112(3, 1968)
- 麻生平八郎：国家、公企業および技術について；運輸と経済 28(1), 36~44(1, 1968)
- 中小企業における専門化 日本学術振興会委託調査結果報告；商工金融 18(4), 1~35(4, 1968)
- 内容

I 中小企業における専門化	田 杉 競
II 電線工業における専門化の問題点	小 林 靖 雄
III 各委員の専門化に関する意見(メモ)	
「専門化」について	磯 部 浩 一
工業における企業単位の専門化	伊 東 岱 吉
専門化に関するメモ	小田橋 貞 寿
「専門化」についての覚書	加 藤 誠 一
中小企業における専門化—意義・可能性・問題点・あり方—	末 松 玄 六
専門化についての覚書	滝 沢 菊 太 郎
「専門化」について	細 野 孝 一
中小企業の専門化問題	水 野 武
専門化について	美濃口 時次郎
「専門化」について(1つの「交通整理的」な覚え書)	山 中 篤 太 郎

檀上邦夫：部品工業における体質改善；経営経済（大阪経済大）（5），109～131（3，1968）

本邦主要会社業績調査—昭和42年上期；興銀調査月報（138），2～108（3，1968）

細野日出男：わが国三大公益事業の経営比較—九電力・国鉄・電電の貸借対照表と損益計算書を中心に—；公益事業研究19（3），1～39（3，1968）

市橋昭平：下請企業の実態分析（その2）；北九州大学商経論集 3（2），51～65（1，1968）

一瀬智司：地域開発と公共企業；公益事業研究 19（3），107～129（3，1968）

池田 彰：中小企業海外進出の条件；工業立地 7（2），15～21（2，1968）

磯部浩一：資本自由化と下請関係；調査時報（中小企業金融公庫）9（4），47～56（3，1968）

上林正矩：従業員特殊制度の総合的研究—日本およびアメリカの経済制度的考察—；証券研究（23），1～77（5，1968）

* 加藤 寛編：日本の公企業，東京 日本経済新聞社 4，1968。 268P（日本経済研究センター双書 12） ¥1,200

内 容

第1部 経済発展と公企業

序章	加 藤 寛
第1章 重化学工業部門の公企業	力 石 定 一
第2章 建設部門の公企業	原 次 雄
第3章 低生産部門の公企業	

第1節	構造変化と経済政策	高村 寿一
第2節	中小企業の近代化と中小金融機関	〃
第3節	投資育成会社による自己資本充実	〃
第4節	消費生協の公的役割	〃
第5節	農業関係における公企業の役割	加藤 寛
第4章	金融・証券市場と公企業	
第1節	公企業の資金調達	松浦 保
第2節	金融公企業論	伊沢 久昭
第3節	公企業と証券市場	猿渡 雄介
第4節	地方公営企業の資金調達	坂田 期雄
第2部	公企業の計量的分析	
序章		丸尾 直美
第1章	公企業投資の構造・効果の計量的分析	
第1節	公企業投資の定義とその特質	河合 聡
第2節	公企業投資の構造	〃
第3節	投資関数における公企業投資の特長	〃
第4節	マクロモデルによる公企業投資の決定	藤尾 憲司
第5節	公企業投資の生産力効果	〃
第6節	公企業投資の需要効果	〃
第2章	電気事業の計量的分析	大沢 悦治
第3章	国鉄の計量的分析	本田 勇一郎
第4章	電電公社事業活動の計量的分析	稲庭 康一；東 直毅
第5章	公企業の経営指標	丸尾 直美
付録	日本における公企業の現状と分類	坂田 期雄

* 小林義雄：世界企業と日本 — 資本自由化の実態 — ，東京 日本関税協会 3，
1968. 150P. ¥280

* 公正取引委員会：公正取引委員会年次報告 昭和42年版，東京 大蔵省印刷局 2，
1968. 328P. ¥570

森 芳三：郡是製糸株式会社社長井工場の生産過程；山形大学紀要（社会科学）3（1），
31～92（1，1968）

* 日本労働協会：年報 日本の労使関係 昭和43年版 東京 同会 3，1968.

407P. ¥1,200

内 容

- 第一部 経済成長と労使関係 中山 伊知郎
- 第二部 労働事情概観
- 第三部 労使の方針・意見
- 第四部 労働問題に関する社説
- 第五部 労使関係研究論文
- 労働組合と産業政策 白 井 泰四郎
- 組織労働者の意識動向—階層帰属意識と組合・政治意識— 松 尾 均
- 官公労働者の争議権 花 見 忠
- 公社・公務員の労使関係—ILO八七号条約批准に伴う関係国内法に現われた団体交渉観— 高 梨 昌
- 技術革新と若年層労働者 中 條 毅
- 第六部 労働関係資料

- * 日本生産性本部労使協議制常任委員会：労使関係白書 昭和43年版—国際化時代の労使関係— 日本生産性本部労使協議制常任委員会報告書，東京 日本生産性本部生産性労働資料センター33，1968. 169P.

岡本秀昭：終身雇用制と労使関係の諸類型—昭和30年代の合成化学産業を対象とする予備的分析—；人文学報（東京都立大）（64），1～31（3，1968）169P.

再販売価格維持制度は必要か（月例シンポジウム 政策の経済学）；柿沼幸一郎；伊東光晴；岡内貞夫；鶴田卓彦；日本経済研究センター会報（78），32～43（15，4，1968）

関島久雄：公益企業概念の考察；公益事業研究 19（3），85～106（3，1968）

島田晴雄：年功制の史的形成について—戦前八幡製鉄所の事例研究—；三田学会雑誌 61（4），40～75（4，1968）

竹林庄太郎：資本自由化とわがくに中小企業；経営経済（大阪経済大）（5），55～92（3，1968）

- * 東京都経済局商工部調査課：東京都における小規模工業の実態，東京 同課 3，1968. 82P.

- * 津田真澄：年功的労使関係論，京都 ミネルヴァ書房 1，1968. 286，3P.
（経営経済学選書 5） ¥1,200

M 国民所得の分配と支出

- 有富重尋：消費者行動研究序論（その三）；名城商学 17（4），191～201（3，1968）
- 東 英夫；北沢敏男（調査課）：賃金構造にみられる最近の変化の特徴とその背景；労働統計調査月報 20（4），8～17（4，1968）
- 東 英夫（調査課）：学歴別に見た「生涯賃金」格差の変化に関する一試算；労働統計調査月報 20（1），4～9（1，1968）
- 賃金・物価・所得政策—国民経済における春闘の分析—（座談会）：中村隆英；金森久雄；小尾恵一郎；高梨 昌；エコノミスト 46（17），38～47（23，4，1968）
- 賃金統計課賃金構造第1係：最近における賃金構造の動向—42年賃金構造基本統計調査の結果概要—；労働統計調査月報 20（3），24～27，32（3，1968）
- 藤井成子（調査課）：世帯主年令別にみた家計構造の日米比較；労働統計調査 20（3），13～19（3，1968）
- 羽倉一雄：大分地区新産業都市建設の進展にともなう県内住民の社会生活；研究所報（大分大）（2），169～215（3，1968）
- 石原俊廣（雇用統計課）昭和42年年末臨時給与の支給状況—毎月勤労統計調査特別集計結果—；労働統計調査月報 20（5），19～21（5，1968）
- † 上妻幸英：日本資本主義賃金史試論—三池炭鉱における賃金形態と労働強化の構造—
「竹内理三編：九州史研究，東京 御茶の水書房 6，1968. 513P.」
P.469～492
- 片岡 博；山王丸 ノリ（調査課）世帯主年令別にみた家計の動向；労働統計調査月報 20（4），18～23（4，1968）
- 国民生活研究所：生活圏と生産圏の連動モデル；国民生活研究 7（4），32～53（5，1968）
- 国民生活研究所：生活協同組合の機能と活動の実態；国民生活研究 7（3），1～15（4，1968）
- * 国民生活研究所：世帯変動と生活構造—日本のライフ・サイクル，東京 東洋経済新報社 6，1968. 214P. ¥1,000
- 河野彰夫：在庫投資の分析 ① 適正在庫水準どう把握するか（景気分析）；日本経済研究センター会報（77），25～29（1，4，1968）
- * 南 亮進：労働需給と賃金決定 Phillips 曲線の理論的性格と「alternative approach」についての覚え書き，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト，5，1968. 9P.（数量経済研究シリーズ 1636）

- * 溝口敏行：農家貯蓄の項目別分析，東京 一橋大学 経済研究所数量経済研究プロジェクト 4， 1968. 14 P. (数量経済研究シリーズ 33)
- 溝口敏行：消費者の欲望体系と広告 II 家計調査による消費行動の要因分析；マーケティングと広告 13(5)， 10～16(5， 1968)
- 村形光三：設備投資の地域的展開 — 43年度地域別設備投資動向を中心として — ；工業立地 7(5)， 29～37(5， 1968)
- 永野不二朗(賃金統計課)：職種別賃金構造に関する一考察；労働統計調査月報 20(1)， 10～13， 26(1， 1968)
- 中村隆英：日本経済と労働者の生活；総評調査月報(19)， 2～16(4， 1968)
- 中村孝士：消費動向をめぐる五つの視点 — 景気調整は順調に浸透 — ；エコノミスト 46(19)， 34～41(7， 5， 1968)
- * 日本経営者団体連盟事務局：激動する国際環境と日本経済 — 産業平和と賃金合理化 — ；同資料編，東京 同局 1， 1968. 100；126 P. 2冊 ¥180；320
- * 日本生産性本部賃金決定機構専門委員会：昭和42年春季賃金交渉分析，東京 日本生産性本部生産性労働資料センター 2， 1968. 131 P. (カバータイトル 昭和43年版賃金白書 — 日本の賃金交渉分析 —) ¥500
- 野村総合研究所：消費パターンの変化と購買慣習に関する調査 — 消費者行動のマクロ的分析 — ；調査月報(国民金融公庫)(85)， 1～47(4， 1968)
- * 小野 旭：戦後における規模間賃金格差，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト 5， 1968. 37 P.(数量経済研究シリーズ 35)
- 坂井好郎：明治大正期 — 地主の家計分析 — 六十町歩地主 T家の研究(2) — ；名城商学 17(4)， 41～86(3， 1968)
- 佐藤智雄：国民生活と生活構造(二) 生活時間と生活空間 ；国民生活研究 7(3)， 16～23(4， 1968)
- 島田晴雄：わが国賃金決定機構の計量分析(一)；三田学会雑誌 61(5)， 34～64(5， 1968)
- 竹内 宏：昭和42， 43年度設備投資計画について；調査月報(長銀) (105)， 5～12(5， 1968)
- 滝沢菊太郎：昭和30年代における規模別賃金格差の再検討；調査時報(中小企業金融公庫) 9(2)， 1～55(3， 1968)
- 田中秀夫(賃金統計課)：最近における建設労働者の賃金；労働統計調査月報 20(2)， 15～18(2， 1968)

田中隆雄：「高度成長」過程における独占資本の賃金政策——「安定賃金制」を中心として——；同志社大学大学院商学論集（2），1～31（3，1968）

- * 谷 重雄：住宅問題入門 住居水準へのアプローチ，東京 日本経済新聞社 4，1968. 213P. ￥260
- * 東京大学社会科学研究所：都心地における宅地住宅の変遷——東京都台東区竹町の場合—— 東京，東京大学出版会 3，1968. 216P. ￥1,800
- 藪 孝平：定点観測・ある過疎地帯の記録；国民生活研究 7（4），14～23（5，1968）
- 山田恵男（賃金統計課）：港湾および陸上運送関係事業における賃金などの動向——昭和42年屋外労働者職種別賃金調査の結果概要——；労働統計調査月報 20（5），14～18（5，1968）

N 財 政

蛭名賢造：租税体系と間接税の地位 I；経済論集（北海学園大）（19），1～20（2，1968）

藤田武夫：昭和43年度地方財政計画の分析と批判——「好転」財政の実体と矛盾——；平和経済（82），11～25（3，1968）

- * 林 栄夫：財政論，東京 筑摩書房 3，1968. 427P.（経済学全集 18）
￥820

別冊：財政学方法論 宮本 憲 一
経済成長と財政収支 水野 正 一

細見 卓：昭和43年度税制改正について；租税研究（219），10～18（5，1968）

井手文雄：ドル防衛下の日本財政の方向；経済評論 17（4），38～49（4，1968）

稲葉洲臣：税制簡素化の回顧と展望（1）～（2）；租税研究（218），24～31（219），26～34（4；5，1968）

井藤半彌：地方財政の均衡に関するブキャナン，ジェンキンス，イーベンの論争；租税研究（219），2～9（5，1968）

- * 自治省：地方財政白書 昭和41年度，東京 大蔵省印刷局 3，1968，515P.
￥930

* 自治省：地方財政の状況 昭和43年3月，東京 同省 3，1968. 515P.

木下和夫：財政硬直化と財政運営のあり方；社会思想研究 20（1），19～27（1，1968）

松野賢吾：予算政策の発展；租税研究（218），2～10（4，1968）
 緒方信一郎：地方財政白書にみる最近の地方財政の状況；自治研究 44（5），83～100（5，1968）
 岡崎守男：戦後資本蓄積と国家財政の役割——いわゆる財政硬直化に関して——；現代の理論（51），119～129（4，1968）
 佐藤昌一郎：製鉄所特別会計の成立（下）——戦前日本における官業財政の展開と構造〔V〕——；経営志林 5（1），27～47（4，1968）
 瀬川次郎：昭和43年度予算および地方債計画，地方税制改正について；地域分析 6（2），1～7（3，1968）
 志村嘉一：国債管理政策の現状と問題点；農林金融 21（4），10～16（4，1968）

† 高橋 誠：戦後二十年の財政政策，「戦後二十年の経済政策——日本経済政策学会年報 XVI——1968」P.15～19

* 高橋 誠；柴田徳衛編：財政学，東京 有斐閣 3，1968. 311，10 P. ¥530

特集 予算と物価：経済（48），21～115（4，1968）

新年度予算案の総合的批判 P. 21～47 飯沼 一夫

政府物価統計の欺まん性——消費者物価指数を中心として——

P. 48～62 石田 望

野さいと肉の価格動向としくみ P. 63～78 美土路 達雄

佐藤内閣の米価政策批判——一九六八年度食管会計予算案の検討——

P. 79～86 千田 史郎

流通「近代化」と中央卸売市場 P. 87～96 津久田 一郎

物価値上げ反対運動の前進 P. 97～107 津田 宏

<資料>物価値上げ反対全国活動者会議の基調報告（安保破壊・諸要求貫徹中央実行委員会主催，一九六八年二月一八日）P. 108～115

<特集>財政・金融政策と独禁政策；公正取引（210），2～15（4，1968）

競争維持政策の意義 P. 2～3 山田 精一

財政・金融政策と独禁政策 P. 4～7 宇田川 璋仁

財政政策と独禁法の相関 P. 8～11 金子 太郎

独占禁止政策と金融政策 P. 12～15 佐藤 隆

宇田川璋仁：財政硬直化・公債・減税；税務大学校論叢（1），39～61（4，1968）

山本栄一：法人税の短期転嫁をめぐって；租税研究（215），5～13（1，1968）

山本昌三：地方財政支出の種々の側面；追手門経済論集 2(2), 16~27(3, 1968)

P 貨幣 金融 保険

- * 花田 実：金融モデルのサーベイ(未定稿)，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェクト 5, 1968. 11P. (数量経済研究シリーズ №34)
- 市岡幸三：農協融資の一側面 — 農外融資の新展開とその意味 —；農林金融 21(5), 9~15(5, 1968)
- 飯田 繁：貨幣流通の諸法則と貨幣政策；経済学雑誌 58(4), 25~52(4, 1968)
- 井上周八：現代日本の米価問題(続・完)——その「虚偽」と「真実」——；立教経済学研究 22(1), 43~82(5, 1968)
- 近畿地域の銀行預貸金予測；調査月報(神戸銀)(307), 24~31(3, 1968)
- 前川 寛：わが国損害保険市場の構造；三田商学研究 11(1), 214~231(4, 1968)
- 松本久雄：オーバー・ローンと株式市場；証券経済(102), 12~39(2, 1968)
- 武藤剛一：「金融再編成」の現段階；経済(49), 95~110(5, 1968)
- * 日本銀行調査局：日本金融史資料 昭和編 第二十卷 金輸出解禁・再禁止関係資料(一) — 金輸出解禁・再禁止一般 — (土屋喬雄：「金輸出解禁・再禁止関係資料」(一)解題 P. 1~31)東京 大蔵省印刷局 2, 1968. 752P. ¥2,000
- * 野口 祐：荒川邦寿；山本 繁；松本雄二：日本の都市銀行 富士 住友 三菱 三和三井，東京 青木書店 4, 1968. 316P. ¥680

I 総論

- | | |
|----------|--------------------|
| II 富士銀行 | 荒川 邦 寿 |
| III 住友銀行 | 野 口 祐 |
| IV 三菱銀行 | 山 本 繁 |
| V 三和銀行 | 荒川 邦 寿；野 口 祐；山 本 繁 |
| VI 三井銀行 | 松 本 雄 二 |

則武保夫：ドル防衛と金融政策；経済評論 17(4), 50~60(4, 1968)

† 酒井一夫：管理通貨制下の流通量，「現代の経済と統計 蜷川虎三先生古稀記念」P. 185~203

佐波宣平：産業連関表における保険業の生産額(特別寄稿 京都大学佐波教授退官最終講義)；損害保険研究 30(1), 219~235(2, 1968)

資金循環からみた主要国の金融構造；調査月報(日銀) 19(4), 1~20(4, 1968)

志村嘉一：日本資本市場における信託会社 — 資本市場の拡大・発展と信託会社の進出 —； 信託（73），3～37（1，1968）

杉野匠明：日本における金融政策の展開とインフレーション — その論争史的研究（1） —； 産業労働研究所報（45），28～47（3，1968）

鈴木金三：資金偏在の理論的分析；東北開発研究 7（3），9～13（4，1968）

* 館 龍一郎；鎌倉 昇編：金融経済講座 I 経済成長と金融，東京 東洋経済新報社 4，1968 218P. ¥680

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 経済成長と金融 | 鎌倉 昇 |
| 2 戦後日本の成長と金融 | 荒 憲治郎；花 輪 俊 哉 |
| 3 産業構造と金融 | 建 元 正 弘 |
| 4 二重構造と金融 | 吉 野 昌 甫 |
| 5 物価と金融 | 石 川 常 雄 |

* 館 龍一郎；鎌倉 昇編：金融経済講座 III 金融と金融市場，東京 東洋経済新報社 5，1968. 282P. ¥780

内 容

- | | |
|------------|---------|
| 1 金融市場 | 堀 家 文吉郎 |
| 2 銀行のビヘイビア | 水 野 正 一 |
| 3 家計と貯蓄 | 川 口 弘 |
| 4 企業の行動と金融 | 浜 田 文 雅 |
| 5 金融資産の蓄積 | 浜 田 宏 一 |

* 統計研究会財政金融研究部会信用補完研究小委員会：中小企業信用補完制度の理論的実証的研究，東京 3，1968. 48P. （財政金融研究資料 49）

内 容

- | | |
|--------------------------|---------|
| はしがき | 高 橋 長太郎 |
| I 信用補完制度の諸問題 P.1～16 | 三 宅 武 雄 |
| II 信用補完制度と金融再編成 P. 17～32 | 花 輪 俊 哉 |
| III 中小企業の資金需要予測 P. 33～48 | 鈴 木 諒 一 |

特集 金融理論の新しい展開；金融ジャーナル 9（4），5～41（4，1968）

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 金融理論の新しい展開について P. 5～9 | 沖 中 恒 幸 |
| 金融資産選択の理論 P. 10～15 | 花 輪 俊 哉 |
| 新しい貨幣理論の展開 P. 16～21 | 高 田 博 |
| 金利構造の理論 P. 22～26 | 鈴 木 満 直 |
| わが国金融構造の特質 — 資金循環分析の観点から — P. 28～34 | 石 田 定 夫 |

資金偏在と地域間資金循環 — 銀行行動と関連して — P. 35~41

鈴木金三

特集 今日農業金融に望む, 農林統計調査 18(5), 9~28(5, 1968)

金融農政 — その現状と問題点 — P. 9~12 佐伯尚美

農業改良資金, 特に後継者育成資金について P. 13~16 石丸美春

畜産経営の規模拡大と農業近代化資金制度 P. 17~20 乗本吉郎

農業構造改善に果たす公庫資金の役割 P. 21~23 石田宥清

最近の農協金融の動きについて P. 24~28 竹中久二雄

わが国経済・企業・金融の中期見通し: たくぎんモデル; 調査月報(拓銀)

(193), 33~64(3, 1968)

山口 茂: 発展的均衡表式における物価と金利; 商経論叢(神奈川大) 3(4),

1~28(3, 1968)

山本 繁: コンツェルンにおける銀行の位置と役割(二) — 三菱・住友・三井を

中心として — ; 商学集志 37(4), 30~50(3, 1968)

吉田六順也: 自立経営と指導金融; 長期金融 4(5), 4~161(3, 1968)

Q 価値 価格と物価

安部一成: 日本経済と物価 — 1 事実と論点; 2 価格形成と変動 — ; 経済セミナー(145), 125~128; (146), 145~149(4; 5, 1968)

江見康一: サービス料金指数について; 経済研究(一橋大) 19(2), 152~155(4, 1968)

* 飯田 繁: インフレーションの理論, 東京 日本評論社 1, 1968. 412 P.
¥2,200

伊大知良太郎: ライフサイクルと消費者物価指数 — とくに生活段階別物価指数の視点について — ; 経済研究(一橋大) 19(2), 97~103(4, 1968)

石原舜介; 小原允圀: 地価形成因子の分析(その3) — 都市の平均地価価格について(その2) — ; 不動産研究 10(2), 25~33(4, 1968)

御園生 等; 石川邦男; 腰原久雄: 特集 物価問題; 月刊総評(129), 10~51(3, 1968)

守田志郎: 米価変動の問題点; 協同組合経営研究月報(174), 3~19(3, 1968)

十 森田優三: 物価指数の問題点; 「戦後二十年の経済政策 — 日本経済政策学会年報 XVI — 1968」 P. 44~49

* 新野幸次郎: 現代市場構造の理論, 東京 新評論 4, 1968. 276 P. (現代経済学叢書 5) ¥950

則武保夫：インフレーションについての一考察 — 金とインフレーション — ；国民
経済雑誌 117(5), 40~53(5, 1968)

嶋田久吉：大東京(23区)における地価の推移について；不動産研究 10(2),
84~92(4, 1968)

篠原三代平：生産性格差インフレ論の実証的覚書；経済研究(一橋大) 19(1),
59~64(1, 1968)

† 高木秀玄：蜷川統計学における「物価指数論」，「現代の経済と統計 蜷川虎三先生
古稀記念」 P. 109~134

* 統計研究会指数研究部会：消費者物価指数の研究，東京 同会 3, 1968. 74 P.
(指数研究資料 42)

内 容

I 生活実感と物価指数 P. 1~7 山 田 勇

II 一般技術体系における等価的消費者物価指数に関する覚え書 P. 8~10
小 尾 恵一郎

III CPIと関連指数の比較 P. 11~18 鈴 木 諒 一

IV 公共料金指数について P. 19~34 江 見 康 一

V 都市・農村消費者物価指数の総合について P. 35~55
澁 谷 行 雄

VI CPI品目選定と確率論導入について P. 56 鈴 木 諒 一

VII 消費者物価水準の国際比較上の諸問題 P. 57~64 溝 口 敏 行

VIII 連鎖指数に関する覚え書 P. 65~74 大 藪 和 雄

* 統計研究会消費統計研究部会：消費者物価指数検討資料(1)

1. 連鎖基準物価指数の再評価 2. 昭和30~40年連鎖基準方式指数の試算，
東京 同会 2, 1968. 51 P. (消費統計研究資料 4)

* 統計研究会消費統計研究部会：消費者物価指数検討資料(II) — 各国現行消費者物
価指数一覧 — ；東京 同会 5, 1968. 23 P. (消費者統計研究資料 5)

湧井洋治：地価対策の新たな視点；自治研究 44(2), 91~114(2,
1968)

R 経 済 変 動

* 馬場正雄：経済予測における予測統計の利用 — 展望 — ，京都 京都大学経済研究所
5, 1968. 31 P. (KIER 6805)

畑井義隆：経済成長の労働分析；経済論集(明治学院大)(10), 1~31(3,
1968)

- 堀 比呂志：ダイナモによる景気予測 43年度はかなりの不況に（景気教室）；
日本経済研究センター会報（80），17～26（15，5，1968）
- † 金子精次：経済成長と二重構造；「戦後二十年の経済政策——日本経済政策学会年報
XVI——1968」 P. 50～59
近畿地域の経済予測；調査月報（神戸銀）（308），24～37（4，1968）
- * クズネツ，サイモン（Kuznets, S.）：近代経済成長の分析 上，塩野谷祐一訳，
東京 東洋経済新報社 5，1968. 261 P.
Original title: Modern economic growth. Rate, Structure, and spread. New Haven, Yale Univ. Press, 1966. (Studies in Comparative Economics 7)
- 丸尾直美：日英経済成長の比較——イギリス経済停滞の原因はなにか——；フェビアン研究
19（4/5），18～36（4/5，1968）
- 中村隆英：高度成長の再考察；世界（270），128～141（5，1968）
- 大川一司：日本経済の生産・分配，1905—1963年——「残余」の分析——；
経済研究（一橋大）19（2），133—151（4，1968）
- 成長政策の今後（月例 シンポジウム 政策の経済学）；下村 治；池内得二；藤野正三
郎；黒川 洸；日本経済研究センター会報（80），2～16（15，5，1968）
- 進藤一男；白川 進；小栗史興；伊達泰芳；深沢 亘；斎藤章二：景気の現状と見通し；
通商産業研究 16（1），26～103（2，1968）
- * 塩野谷祐一：経済成長論，東京 日本経済研究センター 3，1968. 113 P.
（基礎講座シリーズ 6）
- 内田忠夫：ベトナム戦争が終わったら——経済的衝撃の計量的予測 あまり深刻ではない
ベトナム休戦ショック（景気教室）；日本経済研究センター会報（77），2～9
（1，4，1968）

S 国際経済

- * 外務省電子計算機室：太平洋地域自由貿易連合が結成された場合の効果の分析，東京
同室 5，1968. 72 P.（電計—68—3）
- 嘉治元郎：国際通貨危機と日本経済；中央公論83（5），94—101（5，
1968）
- 川田 侃：核武装の経済的意味；世界（270），32～48（5，1968）
- * 川鍋 襄：関税同盟の経済効果のモデル分析，京都 京都大学経済研究所 4，1968.
28 P.（KIER 6803）

- 緊急特集 金恐慌後の国際通貨と日本；経済評論 17(5), 2~38(5,
1968)
- 金ブール崩壊からドル切下げへ P. 2~7 斎藤 稔
新国際通貨制度への二つの道〔インタビュー〕 P. 8~15 川口 弘
日本の円不安は根拠がないか〔架空対談〕— 金戦争の中の為替相場の教訓—
P. 16~27 阪東 太郎
インタビュー 日本の外貨政策をどう転換すべきか P. 28~35
木村 禧八郎
金投機師の正体(時の話題) P. 36~38 J. K. K.
- * 小島 清；島野卓爾；渡部福太郎：経済成長と貿易構造，東京 勁草書房 2，
1968. 276P. ￥1,400
牧野純夫：金ブール崩壊後の円・ドル・ポンド；世界(270), 116~127
(5, 1968)
- * 中内恒夫：産業構造と保護貿易，東京 一橋大学経済研究所数量経済研究プロジェク
ト 4, 1968. 23P. (数量経済研究シリーズ 30)
奥村 宏：日本における外国資本(IV)—化学工業—；証券経済(102),
40~60(2, 1968)
長田五郎：〔資料〕横浜港貿易と神奈川県貿易(4)；経済と貿易(96)113~
128(3, 1968)
島崎久彌：「アジア決済同盟」構想の展開と評価；東京銀行月報 20(3), 4~
30(3, 1968)
新沢嘉芽統：大都市圏の地価形成と土地政策<連載第二回>；土地住宅総合研究
(15), 45~56(5, 1968)
証券と金融をめぐる諸問題(その2)；(その3)；証券経済時報特別号(9),
1~67；(10), 1~63(1; 4, 1968)
内容(その2)
金融市場と証券市場 P. 1~19 中村 孝 俊
国債発行下におけるマネーフロー—特に企業金融の変化—
P. 21~41 外山 茂
長期金融と短期金融 P. 43~67 川口 弘
(その3)
最近の長期金融における諸問題—金融機構再編成問題を中心として—
P. 1~20 原 司 郎
長期金融と証券市場 P. 21~42 鈴木 武 雄
直接金融と間接金融 P. 43~63 江口 行 雄

昭和42年における金融・経済の動向：調査月報（日銀） 19（2），1～30
（2，1968）

昭和42年の資金循環：調査月報（日銀） 19（5），1～20（5，1968）

- * 建元正弘ほか：国際貿易の計量経済学的分析，東京 日本経済研究センター 5，
1968. 148 P.（研究報告 Ⅷ19）

内 容

序

建 元 正 弘

第1章 マクロモデルにおける海外セクター 建 元 正 弘；矢 島 昭

第2章 長期モデルにおける外国貿易セクター：1918—1964

木 下 宗 七

第3章 クロス・セクション・データによる輸出関数の計測 新 開 陽 一

第4章 経済成長・農業・貿易 真 継 隆

付 コメント 討論者：金森久雄；宍戸駿太郎；渡部福太郎；速水佑次郎；浜田宏一
建元正弘；矢島 昭；木下宗七；新開陽一；厚見 博；真継 隆；共同研究 国際貿易
の計量経済学的分析；日本経済研究センター会報（79），54～66（1，5，
1968）

- * 統計研究会貿易マトリックス研究委員会：貿易マトリックスによる世界貿易構造の変化
の分析調査——経済企画庁昭和42年度委託調査報告書——；同附表，東京 同会
3，1968. 140；71 P.

特惠問題の進展とその影響：調査月報（日銀） 19（3），1～12（3，1968）

渡辺太郎：日本の国際収支の動きをきめるもの——ドル防衛の影響評価の基準——；
経済評論 17（4），26～37（4，1968）

山県裕三：ドル防衛と産業・貿易への影響；経済評論17（4），61～71（4，
1968）

吉野俊彦：ドル不安とわが国の景気政策——国際情勢のきびしさを再認識せよ——；
エコノミスト 46（21），14～23（12，5，1968）

- * 行次健三：戦後資本主義諸国の市場分割，京都 京都大学経済研究所 3，1968.
21 P.（KIER 6801）

Part II Foreign Language Literature

D Statistics

Basic survey of commercial activity and structure
(Designated statistics No. 98) ; Statistical Notes of Japan (27), 29-31 (Jan. 1968)

1967 National survey of retail price ;
Statistical Notes of Japan (27), 40-44 (Jan. 1968)

Plan of full-dress pretest for 1970 World Census of
Agriculture and Forestry; Statistical Notes of Japan
(27), 52-56 (Jan. 1968)

Results of the survey on uses of electronic computer ;
Statistical Notes of Japan (27), 18-28 (Jan. 1968)

Revision of base period of index numbers;
Statistical Notes of Japan (27), 32-39 (Jan. 1968)

*Statistical Standards Bureau, Administrative Management
Agency, ed.: Supplement to the monthly statistics of
Japan: Explanatory notes, 1968. Tokyo, Japan Statistical
Association, Jan. 1968. 189p. ¥:700

E1 Japanese economic history

Broadbridge, Seymour :
The economic development of Japan 1870 to 1920 :
A review article ; Journal of Development Studies 4(2),
268-287 (Jan. 1968)

Chien-sheng Shih :
Economic development in Taiwan after the Second World
War ; Weltwirtschaftliches Archiv 100(1), 113-134
(1968)

Jones, Hazel J. :

The formulation of the Meiji government policy toward
the employment of foreigners ; Monumenta Nipponica
23(1/2), 9-30 (1/2, 1968)

Yamamura, Kozo (山村耕造) :

A re-examination of entrepreneurship in Meiji Japan
(1868-1912) : Economic History Review 21(1), 144-158
(Apr. 1968)

E2 Japanese economy

*Moriguchi, Chikashi (森口親司) :

Dynamic properties of Japan's econometric models.
Kyoto, Kyoto Institute of Economic Research, Kyoto
Univ., 2, 1968. 42p. (KIER Discussion paper No. 006)

F The main human agents and environments of economic activity

Broadbridge, Seymour ; Collick, S. K. ;

Japan's international policies : Political and
economic motivations ; International Affairs 44(2),
240-253 (Apr. 1968)

Hough, Richard F. :

Impact of the decline in raw silk on the Suwa Basin of
Japan ; Economic Geography 44(2), 95-116 (Apr. 1968)

Newell, Pauline :

The plight of the sick or injured wage earner in Mitaka
city; 社会科学ジャーナル (7), 373-429 (4, 1968)

*Passin, Herbert :

Japanese society. 「International encyclopedia of the
social sciences. Ed. by David L. Sills. Vol. 8.
N.Y., The Macmillan, 1968.」 P. 236-249.

*Ward, Robert E. :

Political development in modern Japan. Princeton,
Princeton Univ. Press, 1968. xii, 637p. (Studies in
the modernization of Japan) \$12.50

Contents.

- Foreword John Whitney Hall
- I. Introduction. Robert E. Ward
- II. A monarch for modern Japan. John Whitney Hall
- III. Political modernization and the Meiji Genrō.
Roger F. Hackett
- IV. Fukuzawa Yukichi : The philosophical foundations
of Meiji nationalism. Albert M. Craig
- V. Modernization and foreign policy in Meiji Japan.
Marius B. Jansen
- VI. War and modernization. Nobutaka Ike
- VII. Popular political participation and political
development in Japan : The rural level.
Kurt Steiner
- VIII. Elections and political modernization in prewar
Japan. Robert A. Scalapino
- IX. The development of interest groups and the pattern
of political modernization in Japan.
Takeshi Ishida
- X. Structural and functional differentiation in the
political modernization of Japan.
Bernard S. Silberman
- XI. Law and political modernization in Japan.
Dan Fenno Henderson
- XII. Decision-making in the Japanese government :
A study of Ringisei. Kiyooki Tsuji
- XIII. Reflections on the allied occupation and planned
political change in Japan.
Robert E. Ward
- XIV. The politics of Japan's modernization : The
autonomy of choice. Ardath W. Burks
- XV. Epilogue. Robert E. Ward

H National accounting - Input-output
analysis

Inter-regional input-output table for 1960 ;
Statistical Notes of Japan (27), 1-13 (Jan. 1968)

Special features of the 1965 input-output table ;
Statistical Notes of Japan (27), 13-17 (Jan. 1968)

Summary report of the 1965 special national wealth
survey ; Statistical Notes of Japan (27), 45-51
(Jan. 1968)

J Resources of production

Ukita, Yukio (浮田幸男) :
Contemporary labor market in Japan ;
Otemon economic Studies (1), 37-48 (1968)

K Production - Production activity

K2 Industrial structure - Industrial organization

Inaba, Noboru (稲葉 襄) :
Medium and small industrial capitals and labor —
Concrete development of problems of medium and small
industries (1) — ; Annals of the School of Business
Administration (12), 35-50 (1968)

*Takahata, Seiichi :
Industrial Japan and industrious Japanese. Osaka, The
Nissho Co., 2, 1968. 424p.

K3 Specific industries

K3A Agriculture

Rosovsky, Henry :

Rumbles in the ricefields : Professor Nakamura vs. the official statistics. Agricultural production and the economic development of Japan, 1873-1922. By James I. Nakamura. Princeton, Princeton Univ. Press, 1966. xxiii, 257p. \$ 7.50; Journal of Asian Studies 27(2), 347-360 (Feb. 1968)

K3G Domestic trade

Tanouchi, Koichi (田内幸一) :

The credit card business in Japan ; Hitotsubashi Journal of Commerce and Management 5(1), 35-43 (Apr. 1968)

K3J Transportation

Uda, Tadashi (宇田 正) :

On the return-sales to the private ownership of the railways nationalized during the wartime 1943-44 ; Otemon economic Studies (1), 71-80 (1968)

M Distribution of national income

†Ohkawa, Kazushi (大川一司) :

Changes in national income distribution by factor share in Japan, with discussion of Professor Ohkawa's paper. 「The distribution of national income. Proceedings of a Conference held by the International Economic Association. Ed. by Jean Marchal and Bernard Ducros. London, Macmillan, 1968.」 P. 177-195.

P Money - Finance - Insurance

Miyata, Kiyozo (宮田喜代蔵) :
Redenomination problem of Japanese Yen ;
Otemon economic Studies (1), 21-36 (1968)

Noritake, Yasuo (則武保夫) :
The Japanese capital market ; Bankers' Magazine
205(1490), 287-291 (May 1968)

R Economic growth - Economic fluctuation

*Higgins, Benjamin :
Economic development. Principles, problems, and
policies. Revised Ed. New York, W. W. Norton & Co.,
Inc., 1968. 918p.,
Part 6. Case studies.
30. Three success stories. p.617-677
Japan : the lone graduate. p.617-635

Yamamura, Kozo (山村耕造) :
Recent important Japanese works on economics. Nihon no
keiki junkan [Japan's business cycles], Junkanteki
hattatsu-katei no riron-teki, tokei-teki, rekishi-teki
bunseki [Theoretical, statistical and historical
analysis of the cyclical process of development]. By
Shosaburo Fujino. Tokyo, Keiso-shobo, 1966. 588pp.
¥1,350 ; Journal of Asian Studies 27(2), 360-366
(Feb.1968)

S International economy

*Pacific trade and development : Papers and proceedings
of a Conference held by the Japan Economic Research
Center in January 1968. Ed. by Kiyoshi Kojima. Tokyo,
The Japan Economic Research Center, 1968. 401p.
(Center paper No. 9) \$5.00
Contents.
Chap. 1. Canada and Pacific trade policy
H. Edward English

Chap. 2. Canadian trade, The Kennedy Round and a Pacific Free Trade Area.

Bruce Wilkinson

Session I

Chap. 3. New Zealand trade and aid policies in relation to the Pacific and Asian region.

L. V. Castle

Chap. 4. The prospects of the economic integration of Japan, Australia and New Zealand.

I. A. McDougall

Session II

Chap. 5. Japan's interest in the Pacific trade expansion.

Kiyoshi Kojima

Chap. 6. Pacific economic integration; An Australian view.

Peter Drysdale

Session III.

Chap. 7. A new world trade policy in the Post-Kennedy Round era: A survey of alternatives, with special reference to the position of the Pacific and Asian regions.

Harry G. Johnson

Chap. 8. The agricultural gap in the Pacific.

Kenzo Hemmi

Session IV.

Chap. 9. Financial aspects of economic cooperation around the Pacific.

Richard N. Cooper

Chap. 10. A Pacific Bank for Investment and Settlement -- Its conception.

Einosuke Ashiya

Session V.

Chap. 11. U. S. aid policies in Asia.

Gustav Ranis

Chap. 12. Japan's role in Asian economic development.

Saburo Okita ; Akira

Ohnishi

Session VI.

Free discussion.

Session VII.

Schedule of the Conference.

List of the Participants.

*Tussing, Arlon R. ; Comitini, Salvatore ; Gellert, Hubert J. ; Inukai, Ichirou ; Iwasaki, Akio ; Massie, Michael R. C. et. al. :
Alaska-Japan economic relations. A study of the potential contribution of trade with Japan to Alaska's economic development. Prepared for Office of Regional Economic Development, U. S. Department of Commerce, Washington, D. C. Prepared by Institute of Social, Economic and Government Research, University of Alaska, College, Alaska. Jan. 1968. 469p.

